

[共同研究報告]

# 「全人」「玉川っ子」使用傾向の分類による現時点の概念・意味の検証 ——全人教育プロジェクトの報告——

小原一仁, 杉山倫也, 佐久間裕之

## Frequency and Tendency of Usage of the Words ‘Zenjin’ and ‘Tamagawakko’ : Report of the Zenjin Education Project

Kazuhito Obara, Michiya Sugiyama, Hiroyuki Sakuma

Tamagawa University Research Institute, Machida-shi, Tokyo, 194-8610 Japan.

*Tamagawa University Research Review*, 28, 43-70 (2022)

### Abstract

This is a report of the Zenjin Education project conducted in the year 2021-22. The primary purpose of the project was to verify how the theory and practice of Zenjin Education changed in the past hundred years. To do so, we extracted sentences that contained the two words — ‘Zenjin’ and ‘Tamagawakko’ — from the monthly magazine, *Zenjin*, published from the year 2013 to 2021.

We categorized those sentences into four cases of usage: 1) describing students; 2) describing graduates; 3) explaining the theory; and 4) introducing the practice. And, we found that the word ‘Tamagawakko’ was frequently used in the case 1) and 2). In turn, the word ‘Zenjin’ was used quite often in the case 3) and 4).

We have come to a conclusion that ‘Tamagawakko’ embodies the essential characteristics of Zenjin Education, and at the same time, the word explicitly implies the sense of belongingness to a certain place — Tamagawa Academy and/or University. Moreover, we have also concluded that the word ‘Zenjin’ may not be necessarily used in an accurate manner. This is probably because this word seems to be based on superficial image and misunderstanding of its real meaning.

キーワード：全人教育, 玉川っ子, 全人

Keywords : Zenjin Education, Tamagawakko, Zenjin

## I. はじめに

本プロジェクトは、全人教育の思想と実践を確認・検証し、社会および教育の変遷をふまえた「全人」についての再検討が主たる目的の一つである。その具体的な手続きとして、玉川学園（以下、「本学」）が創立以来積み重ねてきた定期行物等の各種資料から、「全人」と「玉川っ子」を用いる文章を抽出し、それらをデータとして、「全人」、「玉川っ子」という象徴的かつ抽象的な概念の

意味内容を分析した。

本プロジェクトにおける着想の背景には、2021年に「全人教育」提唱100周年を迎えたことが挙げられる。創立以来一貫して「全人教育」を標榜してきた本学における理念の継承と、時代の要請に応じる実践等の変容が、上記2つの概念にどのような影響を及ぼしてきたか。また、それぞれの概念が本学のあり方をどのように象徴してきたか。こうした疑問について、100周年という区切りを契機として検討することは、今後の全人教育の実践

に多くの示唆を与えることが期待されよう。

## II. 本プロジェクトについて

本プロジェクトは、「令和3年度 小原國芳教育学術奨励基金」において採択された取り組みであり、申請にあたっては、複数年度にわたった活動を想定していた。初年度にあたる今回は、本学の定期刊行物である『全人』を資料として選出した。これは、数十年にもわたる期間を通して、K-12 および大学における全人教育実践を記録しており、そこには、各時代の園児・児童・生徒・学生が登場する。と同時に、教育に携わる教職員も多く登場している。この人物たちは、各時代の「全人」や「玉川っ子」という概念を体現していたと、考えられる。あるいは、これら2つの概念について直接的・間接的に言及していたと考えられる

作業にあたっては、後述するように、技術上の問題もあり、電子データ化されている『全人』に限定した。それは、2013年度から2021年度の冊子となる。『全人』編集担当者の協力を得て、該当する原稿の電子データ版を提供してもらった。これを用いて、「全人」と「玉川っ子」を含む文・文章を抽出した。

「玉川っ子」を含む文・文章は、88箇所であった。また、「全人」を含む文・文章は、162箇所であった。それぞれの文・文章について、年月・用語の出現箇所・項目（標題等）・使用者を記録し、それに基づいて整理した。

## III. 結果

「玉川っ子」という概念に関しては、4通りの用法に集約できよう。

第一に、在校生について言及する際に用いられるが、「玉川っ子」を形容する様々な語句から、在校生の「玉川っ子」像が具体的に垣間見られる。実際の文・文章は表1の通りである。

表1 在校生を示す用法

年月	ページ	本文
1306	13	2013年度は、白い刺繍の校章と小さなりボンのついた濃紺の帽子が可愛い128名の新1年生が、玉川っ子の仲間に加わりました。
1309	13	登下校の時間を利用して、班ごとに校舎から正門までつづく通学路を歩き、見つけたゴミを“玉川っ子の誇り”と書かれた用具を使って拾います。
1406	12	合言葉は、「きれいな心、よい頭、つよい体」。徳育、知育、体育を調和的に育むことで、豊かな感性と人間性とを兼ね備えた“玉川っ子”になってほしいと、K-12の教育目標に掲げられています。
1411	24	教諭の指示だからでなく、当番だからでなく、自分の仕事として率先して動ける児童たち。朝の学校では、そんな頼もしい玉川っ子たちに出会えます。
1701	22	会場である高学年校舎アトリウムには、多くの聞き手を前に、自信を持って説明する玉川っ子の姿がありました。
1812	6	きれいな学園は「玉川っ子の誇り」
1902	10	山頂では玉川っ子らしく歌声を披露
1912	19	今年度のマスゲームは高校生として、また玉川っ子として最後だったので、練習中から皆の気合や強い思いに刺激を受けてきました。
2011	1	それでもこの丘では、今日もどこかでカイコが『生きた生物教材』として玉川っ子や大学生の学びを支えている。このことを忘れないでほしい。
2112	9	これは自然が豊かな学園のキャンパスをイメージしたものです。果敢に行動する玉川っ子の活力を表現したいと考えて、色はピンクと青を選びました。

第二に、同窓生について言及する文・文章、また、同窓生による「玉川っ子」像に関する文・文章をまとめたものが表2である。

表2 同窓生を示す用法

年月	ページ	本文
1402	1	“玉川の一日は歌に始まり、歌に終わる”〈略〉それは丘を巣立った後も玉川っ子の心の芯となって、消えることはありません。
1406	14	私自身、プロとしてどのような仕事をするようになって、根底には、純粹に真っ直ぐに物事に立ち向かう、「玉川っ子」の精神がある。これは一生大切にしていきたいと思っている自分らしさのひとつです。
1411	29	玉川っ子らしい柔軟さがあれば、どんな場でもどんな仕事でも自分の居場所を見つけられるはずですよ。
1412	16	ニューヨークと東京には十三時間の時差があるから、地球の反対側同士である。そこで活躍している玉川っ子に声援を送り、引き続き競争に負けないことを祈ってやまない。

1705	9	玉川っ子の出身地について、「内地は勿論、遠く樺太、朝鮮、臺灣、南洋、ハワイ、満州、支那等にひろがっている。……」
1812	8	高等部（当時）の労作で作られた池に置かれていたカップ像。1956年、美術部生徒が「玉川っ子」から「川っ子」、「カップ」と連想して製作した。
1902	21	振り返ってみると、自分がいわゆる玉川っ子だったといえるかなあという思いもあるんです。
1910	15	2019年、玉川学園は創立90周年を迎えました。令和という新時代の幕開けとともに大きな節目を迎えたこの機会に、時代を超えた玉川っ子が一堂に会し、明日への「夢」を共有する式典を開きます。
1912	14	10月18日、K-12父母会役員による「父母教養講座」にて、本学卒業生の俳優、藤田朋子氏の講演会が保護者に向けて開かれた。「玉川っ子です、と胸を張れる私」をテーマに、高等部（当時）から大学までを過ごした中でのエピソードや本学への思いを、歌なども交えながら軽妙に語った。
2001	3	物心ついたときから玉川っ子です。当時は音楽祭と演劇発表会が交互にあり、1年生の『赤鼻のトナカイ』ではピアノ伴奏を担当。
2003	20	玉川っ子として得た経験を支えに園児が楽しくなる保育をめざす
2004	31	しかも作者は中学高校時代を私と共に玉川の丘で過ごした玉川っ子である。玉川が〈翼〉の第二の故郷になった経緯は、偶然ではなく必然に思える。
2010	13	父・七代目杵屋佐吉（長唄・三味線方：中央）、弟・三代目杵屋佐喜（長唄・唄方）も玉川っ子
2101	19	心の力が尽きそうなどときには、「玉川っ子ぞ」というおやじの言葉が、あの声で聞こえてきます。なぜ効くかわかりませんが、この歳になっても不思議と背筋がシャキっとするし、自分らしく生きていかなければと思いを新たにします。
2101	19	思うに「微笑みをもって」の玉川モットーは哲学。知恵で書かれた「頭」の言葉で、「玉川っ子ぞ」は感情、「心」の言葉です。
2103	17	中学部クラスメートのSNSに、マリア像と酒井先生の言葉を見つけましたが、コメント欄に並ぶ修復業者委託案に疑問を感じ、玉川っ子の労作魂に火がついてしまいました。
2103	17	本物が学校生活の日常にあり、知らぬ間に自分の当たり前となっているのが玉川っ子の強み！後輩たちには、どのような場面も臆せず微笑を以って担当してもらいたいですね。
2111	13	入学のきっかけは母なんです。友人のお嬢さんが玉川っ子で、労作、寒稽古などに取り組む教育方針を聞き、いろいろ学べて良さそうだと。

第三に、「玉川っ子」という概念が理念として扱われる文・文章も多く散見される。それらを表3にまとめた。

表3 理念としての用法

年月	ページ	本文
1402	5	「私の夢はゼヒ、オーケストラも、四人の独唱者も、指揮者も、歌い手も、みな学園で、いつかはやってみたいのが念願だったのです。……今はじめて、全楽章を全部、玉川っ子たちだけでやれたのです」（『全人教育』235号より）
1402	17	極貧の地で母親のように子どもたちを愛されるシスターの姿は、玉川っ子にとって隣人愛のお手本でした。
1406	7	今日から皆さんは「玉川っ子」です。玉川っ子には「きれいな心、よい頭、つよい体」の3つの目標があります。
1406	7	玉川っ子どうし仲良くしてくださいね。周りの人たちに優しくなる「きれいな心」を持つとお友達が増えます。
1406	7	さあ、みんな今日から玉川っ子です。『きれいな心、よい頭、つよい体』の玉川っ子となることを約束してください。
1502	1	玉川っ子の3つのやくそくとは、「きれいな心、よい頭、つよい体」。徳育、智育、体育によって、調和のとれた豊かな人間の育成を目指す全人教育。その理念は今もなお、玉川の丘に息づいています。
1512	2	玉川っ子の手本となり支えとなり励みとなるモットー、時を超えて、色褪せずあたたかく力強い。
1512	14	「玉川学園の校歌などは、日本一の校歌ではないかと思ったりいたします」と国語学者・金田一春彦は『日本の唱歌』（講談社）に記した。自然と4部合唱になる校歌がほかにあろうか。歌に始まり歌に終わる学園生活のなかでも、玉川っ子がもっとも愛する歌であり、誇りである。
1802	8	以来、入学式・卒業式、音楽発表会、演劇発表会ほかさまざまな行事が開かれ、玉川っ子の歌声とともに歩んできました。
1811	12	「生涯、読書人たれ」と述べた創立者小原國芳は、「図書館は実に学校の心臓」と位置づけ充実を図りました。玉川っ子に読書と学びの機会をもたらす図書館を紹介します。
1812	2	ソロバンもはじくがお経も繻ける玉川っ子にしたいのです。
1902	8	安全・安心が重視される昨今ですが、玉川っ子にはスキー学校を通して、大自然の厳しさを体験し、教育12信条のひとつ、「自然の尊重」を学んでほしいです。
1905	7	玉川っ子が大きな夢を、一つでも多くの夢を持ってほしいと願ってのことだと聞いています。
1912	26	「明るい日本建設は、まず『歌から』と信じます」と創立者の小原國芳が語ったように、音楽の生活化をめざした玉川の教育は、歌とともにありました。『愛吟集』は玉川っ子の愛唱歌を取めたオリジナルの歌集です。

2009	7	創立者は子どもたちや卒業生を、誇りと愛情を込めて「玉川っ子」と呼んだ。右の刻字は玉川っ子の3つの約束として、毎年入学式で小原芳明学園長から新1年生に贈られる言葉。創立者から引き継がれ、豊かな人間像を象徴している。創立者は同じ言葉の揮毫を多く遺し、「きれいな心」と書かれたものも。低学年校舎中央玄関で玉川っ子や乗客を迎えている。
2011	6	これからも、玉川っ子には歴史においても「本物にふれる」「体験から学ぶ」ことを大切にしてほしいと願っています。
2103	3	開校を控えた1929年3月、小原國芳や教員、塾生が話し合い、校章の意匠が決められた。ランドセル、園児・児童の帽子（夏用は白）などの学用品に、92年前の玉川っ子が顔を寄せ合い考えた校章が受け継がれている。

最後に、「玉川っ子」という概念が、実際にはどのような行動様式として顕在するかについて、その実践の事例として言及される文・文章を、表4内にて列挙した。

表4 実践としての用法

年月	ページ	本文
1306	7	教科指導や生活指導などに目まぐるしく過ぎゆく毎日であるが「玉川教師訓」「進みつゝある人のみ人を教ふる権利あり」の言葉は、玉川っ子教師への遺訓と言えるだろう。
1407	1	また学園と家庭とが相互に連携して、子どもたちと向きあう教育環境は、学ぶ意欲と生きる力を備えた「玉川っ子」を育む土壌となっています。
1512	5	『愛吟集』は塾生の選曲で編まれた歌集だ。「音楽の生活化」が掲げられ、合唱祭、第九合唱などの行事が大切に受け継がれてきた。今も各部で音楽祭が開かれ、歌が玉川っ子の心をつなぐ。
1512	5	みんながそこに立っているようだ。同じ歌、同じ玉川っ子。
1512	9	玉シャツは第1ボタンのない開襟で、裾を出して着るのが特徴。時代に合わせて襟や袖の形、ポケットの位置などのデザインや素材を少しずつ変えながら、今も玉川っ子に愛されている。
1609	24	玉川学園低学年の春の遠足は、毎年5月に行われる。4月の入学式で「きれいな心」「よい頭」「つよい体」の玉川っ子になる約束をしたばかりの1年生から、低学年の最上級生として頼もしく成長した4年生まで、児童と教員が全員でこどもの国へ向かう。
1701	24	そして毎日の練習の始まりと終わりには必ず「シー・ハイル（スキーばんざい）！」と、かつてシュナイダーと玉川っ子が唱和したように、元気な声をゲレンデに響かせます。

1702	20	私は通大のスクーリングでも30年以上、合唱指導を行ってきました。玉川っ子にとって、歌ある生活は当たり前のことですが、全国から集う通大生の多くは、幼少期にそのような経験がありません。
1802	10	朝に夕に、出会いや別れの節目に、学びの集大成として、仲間と歌声を合わせる玉川っ子たち。
1904	24	一方で、例年5～12年生約300名を、研修や留学で海外に派遣、海外の学校との調整、研修の引率など、玉川っ子が本物に触れ、多様性を学ぶ経験を支えています。

「玉川っ子」と同様に、「全人」という概念も4通りの用法に即して分類した。それぞれを時系列で整理したものを下表5～8にて示す。

表5 在校生を示す用法

年月	ページ	本文
1601	9	全人教育の理念に基づき、豊かな人間性を備えた教員を養成する教育学部。たくさん子どもたちが来場するコスモス祭は、日頃の学修成果を生かす貴重な学びの場です。
1906	16	TAPを本格的に体験したのは一年次セミナーでのことです。楽しいだけでなく、自分自身を省みる機会になって新鮮だったし、入学の動機だった「全人教育」につながるものだとも感じました。
2106	18	ベートーヴェンの第九をドイツ語で合唱したことも、良い経験です。全員が渾然一体となって調和し、我を忘れるような感覚に、全人教育の一端を体感しました。体育祭や芸術鑑賞、コスモス祭でのゼミ発表も、私の教育観、人生観の基礎になると思います。

表6 同窓生を示す用法

年月	ページ	本文
1401	13	玉川学園に入学したのは高等部から。きっかけは、全人教育に感銘を受けていた母に勧められ、中学3年の秋、高等部の自由研究展の見学に初めて学園を訪れ、小原國芳先生と出会い、握手をしたときだった。
1503	25	スクーリングでは小原國芳先生の教えを受けた先生方から「全人教育」について学び、お人柄に触れる思いでした。
1506	25	小原國芳先生から学んだ全人教育が新しい教育を進めるためのビジョンにつながりました。「人間力」と「社会力」を身につけた子どもを育てることは、私にとって生涯の目標なのです。
1711	22	専門知識を持った教職員と児童、生徒、学生がともに発掘調査を行う姿は、全人教育の体現とも言えるものでした。
1909	23	大学は毎日わくわくできて楽しかったですよ。驚いたのは内部進学した同級生の純粋さ。全人教育とはこういうことかと衝撃を受けました。

2001	7	研究者に必要なのは、労作など全人教育で行われている、自分の手を動かして、自分の頭で考えて、好きなことを突き詰められる力かもしれませんね。
2105	7	演劇専攻では、舞台創造の学修で観客からいただく拍手に喜びを感じ、仲間との作業やスタッフとして舞台を支えることに感動を覚えました。中学部での労作にもつながる経験だったと思います。全人教育の中にある、協働で何かを創る体験教育という点では、演劇も労作も同じ目的を持っており、実りある学びでした。
2105	8	高校生の頃、川崎以久哉先生に「全人教育って難しく感じるかもしれないけれど、きれいな心、よい頭、つよい体の3つの約束のことなんだよ」と教わり、自分の中でストンと落ちるものがありました。
2105	10	でもキリスト教の礼拝堂でお坊さんが講話したりするのは不思議でした。「なぜキリスト教と仏教がいっしょに？」と。疑問は、文学部教育学科で全人教育を、宗教の観点から研究するきっかけになりました。玉川の全人教育では、宗教は信仰のためではなく、いかに生きるかを学ぶためのもので、礼拝堂はその修養の場である—これが私の得た結論でした。 高等部では「馬鹿になれ、大馬鹿に！」という國芳先生の言葉を、先生方から何度も聞きました。全人教育は多様な経験を積むことを大切にしますが、最終目標は個性尊重。子どもたちは、自分の個性を見つけなければなりません。でも本気にならないと、対象が自分に合っているかわからない。だから「馬鹿になる」必要があるのです。 とにかく楽器を吹きたくて毎朝、朝会直前まで吹奏楽の練習をして教室に駆け込んでいました。そんな私に「川崎、ラップがすべてではない、本を読みなさい」と論してくれた担任の沢柳宏先生は、全人教育の中、ひとつに偏ることなく調和的な人間になるようにと導いてくれていたのだと感じます。 部の仲間に、楽器が上手で運動神経抜群、英語の成績はトップクラス、どんな相手とも分け隔てなく付き合い、誰もが一目置く生徒がいました。國芳先生が考える理想の生徒は、こういう人間なのかなとったりしていました。いま、私が全人教育における理想の生徒像を問われたら、「私はこれに夢中です」「彼・彼女は、こんな面白いことをやっています」と素直に言える生徒をイメージします。
2111	19	小原先生だったら何を語りかけるだろう。私の祖父は5人の子供全員を玉川学園に通わせました。私も当然のように玉川で自由闊達に成長しました。いま有り難く思うのは、小さい頃から小原先生に接してきたことです。いつも「小原先生だったら何を語りかけるだろう」と考え、全人教育を実践しています。
2111	19	令和の時代にこそ求められる教育理念、私も卒業生です。全人教育は私の政治活動における重要な指針です。社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難な時代に求められる教育こそ、全人教育ではないでしょうか。玉川モットーを改めて胸に刻み、政治活動に取り組みたいと考えています。

表7 理念としての用法

年月	ページ	本文
1311	10	ペガサス祭はまた、受け継がれてきた玉川学園の文化の集約でもあります。学園創立者は「教育の内容には人間文化の全部をもらねばなりません」と、『全人教育論』の冒頭で語っています。玉川学園で、生徒が主となって動き、教員も共に知恵を絞り汗する行事を重視する所以です。
1402	7	創立者小原國芳は、全人教育の中でもとくに音楽を重視し、心の機微や昂揚を音楽に託して深い感性を磨くべく、「音楽の生活化」を唱え、積極的に教育の中へ取り入れました。
1404	1	2014年4月、玉川学園は創立85周年を迎えました。全人教育や教育12信条を指標として、移り変わる時代と社会からの要請に応えるべく、つねに新しい教育に取り組んでいます。
1412	4	小原國芳先生がデンマーク体操を取り入れたのは全人教育のため。ともに演技を磨くことで人間関係を学び、人格形成につなげることを心がけています。
1501	22	玉川学園には、創立者小原國芳が掲げた全人教育に基づき長く続けられている教育活動があります。音楽祭や体育祭などの全学的な行事や取り組みのみにとどまらず、それらは日々の学校生活に根づいています。礼拝はその伝統のひとつ。特定の宗教に依拠せず、神や仏、神聖なるものを尊ぶ宗教心を養う時間です。
1502	1	玉川っ子の3つのやくそくとは、「きれいな心 よい頭 つよい体」。徳育、智育、体育によって、調和のとれた豊かな人間の育成を目指す全人教育。
1512	10	雄大で清らかな自然の中に身を置き、忍耐強く練習を積んで精神と身体を鍛錬するスキーに、創立者は全人教育に通じる理念を見出した。
1611	6	小原國芳は玉川学園の創立期に教育目標として「個性を尊重し、自學を奨励し、能率高き教育を施し、科學的研究、自然に親しむ教育、全人教養を徹底的にやつて見たい」(『日本の新學校』)と唱えました。
1612	6	神の教えに学ぶことは、玉川の全人教育の柱のひとつ。「よき宗教教育には、よき宗教画を」という創立者の思いから、教育博物館は71点のアイコンを中心に多くの宗教画を所蔵しています。
1701	24	「一面の銀世界そのままが大宗教であり、大道德であり、大芸術である」——。創立者・小原國芳は全人教育の理想を実現するためにスキーを取り入れました。玉川の全人教育では、「真・善・美・聖・健・富」の6つの価値を調和的に育てることを目指しています。スキーはこの「健」の教育において、デンマーク体操とともに重要な役割を担っています。

1702	9	小原國芳は舞踊について「もっともっと教育で大事にされねばならぬと思います。全人教育では欠かせぬ一つの項目です」(『全人教育』262号)と述べた。舞踊の高い芸術性を看破し、玉川では創立時より舞踊家の石井漠、リトミック指導の先駆者である小林宗作らの指導を受けた。それは石井や小林の舞踊への取り組みが、小原の唱えた全人教育における芸術への考え方と同じだったからである。それはまた、小原が世界一の体操として導入したデンマーク体操の「よりリズムカルに」というあり方ともつながり、全人教育での調和的人格の形成を目指す道の一つであった。
1707	11	創立者小原國芳自身に留学経験はなかったが、欧米教育視察等を通して海外の動静を熟知していた。後年小原は「広く世界を知ったホンモノの日本人を目標としての全人教育」(『全人教育』191号)でありたいと世界に目を向ける意義を語った。
1711	24	小原國芳は著書『師道』(1974年)の中で、玉川学園の考古学の活動を全人教育の実践として挙げています。考古学の研究には知識も重要ですが、フィールドワークも必須となります。そのためには、自ら考え行動すると共に、他と協力しながら進めることも不可欠です。小原が目指した全人教育において、労作教育や自学自律の自由研究を師弟同行で実践し、発展させたひとつの形が、考古学研究会の活動であったといえるでしょう
1712	1	玉川では全人教育が掲げる6つの価値「真・善・美・聖・健・富」の「健」にあたる健康的な身体づくりにおいて、オレロップ国民高等体操学校の創立者ニルス・ブックが考案したデンマーク体操(基本体操)を取り入れました。
1712	5	「健全なる精神は、健全なる肉体に宿る」。創立者小原國芳が好んだ言葉です。玉川のデンマーク体操には、全人教育に基づく哲学が息づいています。
1804	5	玉川の広いキャンパスは、多様な命との関わりを考えるいい環境です。全人教育は、「私」のまわりのすべてのものを敬い、認め、調和することを説いていますね。
1812	1	創立者小原國芳が唱えた労作教育は、いまなお玉川学園の伝統です。創立から89年、労作の実験精神は時代によってそのかたちを変えながらも、全人教育の礎であることに変わりありません。
1902	2	オーストリア国立スキー学校長だったシュテファン・クルツェンハウザー教授との出会いを機に、指導者の草分けとなり日本のスキーを牽引してきた杉山進さん。自然の中で人間形成をめざすその理念は、全人教育と重なります。
1902	5	國芳先生は自分で吹雪を体験した瞬間に、スキーとは雪山や自然との対話だと見抜いておられる。だからこそシュナイダーの考えに共鳴し、スキーが全人教育の柱のひとつになっていったのでしょう。
1902	8	小原國芳先生は、全人教育の理想実現のためにスキーを教育に取り入れました。

1902	12	玉川学園は90年前の創立以来、人道主義と調和の文化を中心に据えています。これらの価値は学園で学ぶ学生生徒、卒業生を支え、彼らの中で特別な形で生き続けています。「全人教育」の理想のもと、玉川学園は日本のみならず全世界で社会貢献できる人間を育てる方法を確立してきました。
1905	1	創立者小原國芳が「ゆめの学校」を思い描いて開校した玉川学園は、今年90周年を迎えました。6つの価値〈真・善・美・聖・健・富〉の調和と創造を人格形成の理想とする「全人教育」を不変の教育理念として、時代の流れに合わせた教育活動を展開しています。
1906	6	世界中で実践されてきたアドベンチャー教育を、日本で最初に導入。「行動する全人教育」をテーマに、自己冒険力をはぐくむ体験学習として、教育現場をはじめ、学内外の多様なニーズに応じる実践に取り組んできました。 「TAPを通して全人の花を開花させてほしい」 TAPは「全人教育」を具現化するための、実践的で体験に根ざした教育手法のひとつです。子どもたちはそれぞれのタイミングで気づきを得て成長し、「真・善・美・聖・健・富」の6つの価値をバランスよく備えた全人として飛び立ち、社会で活躍してほしい。
1906	32	全人教育論は時代錯誤か 私は、著者が他界した後に生まれた世代であるため、生前の著者の薫陶を直接受けてはいない。しかし、現在大学で「全人教育論」を担当するにあたり、自然とこの本が私の相棒となった。1921年に産声をあげてから約100年となる全人教育論ではあるが、残念なことに、今、学内からもその存在は薄れつつある。
2002	11	スキーとデンマーク体操は全人教育における6つの価値のひとつ「健」の教育の礎で、創立期に“本物”の指導者を招いたことが原点。全人教育の理想を実現するために導入されたスキーとデンマーク体操。その伝統はK-12のスキー学校、体育祭で披露されるマスゲームなど、玉川の教育に息づいています。
2003	11	経営学部は高等専門部商科設置の約60年後に創設されたが、経営学部の「全人教育+グローバルな思考力」を重視するルーツは専門部商科の教育に既に見られる。全人教育は玉川教育を貫く棒のようなものである。
2007	13	教育学部は、全人教育の理念を通して、豊かで調和的な人間性を備えた「人」の養成を目的に掲げています。ここでの学びが、やがて「夢」に向かって歩み続ける皆さんの支えとなり、明るい未来へ繋がっていくことを、心から願っています。
2008	20	忍苦百年！新日本はこれからだ、いよいよ教育戦だ！玉川の国家的使命は大きい。偉大なる覚悟を以って、丘に集まれ 全人教育に、労作教育に、個性尊重に、塾生活に、農業増産に、教育戦を戦う。学園は至って平静、安心して来たれ。始業 九月六日
2009	9	第二里を行け 創立者の揮毫。教育12信条のひとつで、全人教育を支える理念でもある。

2009	11	1967年、東京・大阪で開催されたベートーヴェン展で展示された像を創立者の希望で譲り受けて聖山に設置。2016年に現在の位置へ。創立者は「第九」を通して「全人」を形成したいと考えていた。
2009	13	小原の唱えた全人教育はペスタロッチの「教育思想の内容として3H即ちHead, Heart, Hand頭と胸と手の三つの教育」の調和的発達を考えを元にし、それらに加えて真善美聖健富の6つの価値を調和的に身につけた人間形成をめざしたものであった。全人教育の思想のルーツはルソー、カント、ペスタロッチ、ナトルブらに連なる。明治になり、先哲らの思想がわが国にひろまった。小原がいつペスタロッチに出会ったのか、残念ながら『自伝』などからは見いだせない。
2009	20	小原國芳は「子供は遊戯をしないと馬鹿になる」(遊ばない子は馬鹿になる)と言っていました。小原が言う「馬鹿」とは全人教育を踏まえると、勉強ができないということに限らず、生きる力のない人を指すと考えられます。
2010	11	本学はキリストの教えを大切に、全人教育を掲げ、教育実践などに努めてきた。しかし、そうした自由主義的な教育方針は、軍部に好まれなかった。
2103	3	聖山の東側9合目に礼拝堂が建立されたのは1930年9月。小原が敬愛した社会事業家・宗教家の本間俊平の名を冠し「本間記念礼拝堂」と呼ばれた。本間が玉川学園出版部(当時)から刊行した書籍の印税を建設資金としたことによる。以来、礼拝堂を擁する聖山は全人教育を支えてきた。
2103	7	玉川の剣道の歴史は創立期に遡る。小原國芳は玉川学園初代剣道師範の佐藤貞雄範士九段に「人づくりの剣道」を求めた。佐藤師範は、「日本文化の国家國芳たる武道」を学ぶ、「全人教育における人間修行道場」とするために創立者の名を戴き、國芳殿と命名したと述べている。 名称は、偏りのない全人をめざす玉川の精神、「玉川魂」を意味する。
2104	11	全人教育を提唱した小原國芳が玉川学園を開校したのは、知育偏重に陥りがちな当時の教育への挑戦であった。創立直後に著した『玉川塾の教育』の中で「開拓者たれ!」と、自らを奮い立たせる言葉を述べている。
2104	16	玉川学園創立の翌年、聖山の山頂に近い東側の斜面に建てられた礼拝堂は、2020年に献堂90年を迎えました。「玉川の心臓」と呼ばれた全人教育の拠り所は、学内で最も大切にされている場所です。玉川大学は学則の第1条で、キリストの教えに従い全人教育をもって教育精神とすること、宗教、芸術教育を重んじて浄きよらかな情操を養成することを謳っています。小原が礼拝堂を必要としたのは、宗教教育こそ全人教育の根幹を成すと考えたからです。

2105	1	全人教育とは、1921(大正10)年8月に開かれた「八大教育主張講演会」で、当時成城小学校の主事をつとめていた小原國芳が初めて提唱した教育理念です。全人教育の理想を実現する「ゆめの学校」として、玉川学園は1929年に創立されました。提唱から100年。全人教育はいまなお教育界に大きな影響を与えつづけ、全人教育を掲げる教育機関の広がり。理念の普遍性が示されています。100年の節目を迎えた2021年5月号では、全人教育の誕生から発展にいたるあゆみを振り返るとともに、教育研究活動の第一線にいる教員に「全人教育」についてうかがいます。
2105	2	「全人教育」の誕生と広がり「全人」という言葉は今日、文部科学省をはじめとして、全国の初等中等教育機関に加え、高等教育機関でも国公立・私立を問わず広く使われ、一般名詞となりました。玉川学園を支える全人教育の誕生から広がりまでをたどります。 哲学者・西田幾多郎(1870-1945)。京都帝国大学教授で、朝永らとともに全人教育思想形成において創立者小原國芳に影響を与えた。 京都帝大哲学科での小原の卒業論文「宗教による教育の救済」の草稿。のちに『教育の根本問題としての宗教』として出版。小原は「吾人の要求する教育は結局心身の調和せる発達」「全人の教育である」などと主張。 小原は「平凡な名前」として「全人教育」を紹介し、論じた。知情意において調和ある人格を意味する「全人」は、京都帝大在学時から著述に用いていた言葉であり、概念だった。 8月8日、30代半ばの小原國芳が、日本で初めて全人教育を提唱した八大教育主張講演会での言葉です。聴衆を魅了する舌鋒は鋭く、入学試験のための詰め込み教育や売名目的の運動ばかりの教育—それは現代でも見られますが—など、特定の主義(イズム)に偏った教育を「ウソの教育」、「殺人教育」と批判し、中庸を行く「真実の教育」を要求しました。その闘争の旗印が全人教育だったのです。國芳が求めたのは、この世界にただ一回のみ出現した一人一人を大切に扱い、それぞれに必要なすべてを包摂する教育でした。心身からなる「人」には、心育(真育・善育・美育・聖育)と身育の両方が不可欠です。さらに生きていくためには「実際の教育」も欠かせません。これらを盛り込み「総合的人格」の涵養をめざす全人教育によって、「人らしい人」を育てることが、彼の理想でした。

2105	3	<p>小原は全人教育の完成をめざし、宗教教育、労作教育、塾教育、芸術教育などを重視した学校として創立した。</p> <p>特筆すべきは、「人らしい人」が没个性的なものではなく、一人一人において個性豊かに実現すると見られていた点です。國芳は、全人教育によって唯一無二の「尊き自己」を発見し、「自己らしく」生きることが、各人にとって「真に幸福」なことであり、同時に「世界もそれだけ幸福になる」と確信していました。</p> <p>全人教育提唱から100年。國芳の蒔いた種は、今や全国に広がり、海外でも注目されています。日本の教育課題となった「生きる力」は、「全人的な力」と説明され、「誰一人取り残さない」世界へ向けたSDGsや「互いに尊重し合える」未来社会(Society5.0)への取り組みも、一人一人を大切にすることで、全人教育を必要としています。教育の本質に迫る國芳の主張は、21世紀の今、生き続けているのです。</p>
2105	6	<p>國芳はまた「教育に全人という言葉に冠したくない」とも述べています。教育と言えば全人教育をさす存在にしたいと。ただ、言葉を冠さない人に説明ができないため、止むを得ず全人教育と名付けました。それだけ全人教育における6つの価値には普遍性があると考えていました。時代とともに、社会は変わります。それぞれの時代に合わせた全人教育の実践方法があつていい。しかし、その根幹にあるべきものは、やはり普遍的な6つの価値を大切にしたい教育観であると、私は考えます。豊かな人間性を内包した子どもたちに、無限の可能性を信じられる「夢」のある生き方をして欲しい、その願いも普遍的であり、それ故にいつの時代も全人教育が教育の完成形であり続けるのだと思います。100年の節目を迎えましたが、ゴールではなく皮切りとして、今とこれからの全人教育を発信していきたいです。</p>
2105	11	<p>今年是小原國芳が「全人教育」を創唱し100年を迎える。その主張は依然として色あせない。色あせないどころか、今日の教育事情をみると「全人教育」はますます必要とされているように思う。教育の問題は常に古くても新しい。「全人教育」は国語や算数といった教科教育、幼児教育から社会人教育にも通用し、男女の別も問わない。</p>
2105	13	<p>2021年は本学の教育信条である全人教育提唱100周年の年です。提唱されたのは1921年8月8日ですが、父哲郎はよく、「八は末広がり、そして八の踏ん張り」と縁起の良い数字だと言っていました。「全人」という言葉を教育方針に取り入れる学校も増え、15年ほど前にすでに2,500校ほどにまで上っていました。</p>

2109	21	<p>台湾の全人教育研究の充実のため、当時の教育事情を学校所蔵文書からもとらえようと、2010年以降たびたび台湾各地の学校で調査訪問しました。嘉義市の崇文國民小学(旧玉川公学校)では、校舎に「全人教育溫馨校園」の掲示を見ました。台北市立第一女子高級中学(女子高等学校)では「豊かな人文素養を育て上げ、全人教育の理想に」などと載る日本語学校案内冊子など、各地で思いがけないものを見ました。台中市の私立常春高級中学創立者の李園會校長は『小原國芳與全人教育論』を著していました。これらから、現在の台湾で全人教育がひろがっていることに気づいたのです。</p> <p>共同研究者の一人であり、日本と台湾で博士号を取得した陳虹彪氏(平安女子学院大学准教授)に、台湾で全人教育という言葉はどのように理解されているのかを聞くと「知育に偏重しないバランスの良い人間を育てること」と即答されました。全人教育という言葉は、台湾ではひろく知られている教育用語になっていたのです。</p> <p>戦前の東アジアの各地での新教育の実践や、現在の全人教育の取り組みについては日本国内ではまだよく知られていないようです。全人教育研究を共に行い、玉川学園・玉川大学からその成果を発信できれば、全人教育の新世紀第一歩となるのではないかとと思うのです。</p>
2111	18	<p>全人教育の歴史を振り返り、理念と未来を語る開幕の挨拶に立つ小原芳明理事長。「全人教育は、もはや一般名詞として普及している」。原点としての玉川のあるべき姿を語った。</p> <p>プラトンはまず「真・善・美」の3つを挙げた。アリストテレスはその上に「最高善」というものを置き、のちにカントが「聖」と名付けてくれた。この4つが、私は絶対価値だと思う。真・善・美・聖の4つの絶対的理想を実現する手段として「健」、そして「富」が考えられる。この6つがきれいにそろった人を、私は『全人』と呼びたい。創立者小原國芳による「全人」の定義です。</p> <p>小原國芳の随筆秘書を経験した石橋哲成玉川大学名誉教授は、全人教育提唱の背景を中心に提言。京都帝国大学哲学科の卒業論文に「全人の教育」と書かれていることから、礎となる理念が学生時代から育まれていたと解説。子供一人ひとりを「全人」とすると捉える子供観・人間観とともに、教師には子供の中の全人的資質を見抜く眼力が必要と主張しました。</p> <p>玉川大学教育学部長の小原一仁教授は、実学主義と教養主義に二分された現状を分析し、実学重視の教育が立身出世の手段や権威主義につながっていると指摘しました。小原國芳はこのような傾向の教育を「ウソの教育」と喝破し、一方「マコトの教育」である全人教育とは、主義主張にとらわれず、永劫に普遍妥当性を有する堅実な教育と説いたことを小原教授が語りました。そして子供の夢を大人が先回りして決めたり、狭めたりしないために、今こそ全人教育の原点に立ち返るべきと締めくくりました。</p>



2111	30	WEFと全人教育。共に100年の歴史を刻み、21世紀の今からを展望するWEFが誕生した1921年は、小原國芳が「八大教育主張」講演会で初めて「全人教育」を提唱した年でもある。新教育の理想を掲げ、共に100年の歴史を歩んできたこととなる。この世に生まれてきた唯一無二の子供の個性を大切に尊重し、真に幸福に生きるための教育こそが全人教育であると國芳は論じた。均一化された教育を批判し、一人ひとりの子供がもつあらゆることを人として生きるための萌芽だとして、全人的な存在だと説いた。全国に全人教育を語って歩いた教育行脚で國芳は笑い、涙し、気焔を吐いた。
------	----	--

表8 実践としての用法

年月	ページ	本文
1412	8	玉川学園の海外提携校は、7カ国に14校あります。ブラジルのサンパウロにある松柏学園・大志万学院は、玉川学園と同じ全人教育を教育理念に掲げる提携校。
1501	1	玉川大学は全人教育を学びの根幹とし、社会のデマンドに応える人材の育成に力を入れています。
1507	1	研究の第一義は「社会に役立つ」こと。玉川の研究所は、学園創立の1929年に開設された玉川学園教育研究所を出発点としています。全人教育の実践と研究を足がかりに、文系理系の垣根を超えた、学際的で専門性の高い特色ある研究へと歩みを進めてきました。
1509	6	TAP (Tamagawa Adventure Program) とは、人間教育として提唱され、世界で実践されるアドベンチャー教育の理念と手法を、玉川の人間教育と統合させた体験学習プログラム。その実践と研究拠点がTAPセンターである。
1510	12	全人教育の一翼を担うデンマーク体操。心身共に力と技の向上をめざし、体育祭で大学生と力強い演技を披露。
1702	1	創立以来、玉川学園では人間性をより豊かに育むため、芸術を教育に取り入れてきました。演劇や舞踊など、身体を使って表現することは大切な活動であり、全人教育のひとつの象徴です。
1709	1	玉川大学では、Project Based Learning (課題解決型学習) を取り入れた授業を全学部で行っています。学ぶ者が主体的に課題と向き合い、問題解決を探る過程で知識や能力を獲得するというもので、探求心を育む「自学自律」、体験による知育・徳育を掲げる「労作教育」などの全人教育にも呼応する手法です。
1803	9	礼拝や労作を通じて全人教育を理解する 玉川学園・玉川大学の歴史や教育理念である全人教育について学び、「聖なるもの」への理解を深めるための科目で、秋学期に開講。1年生全員が初年次教育の一環として履修しています。全15回の授業のうち、「礼拝」5回と「宗教講義」4が設けられており、学生は宗教の本質や宗教を学ぶ意義を考察します。このほかに学長、学部長による講話、「全人教育入門」の授業、学部ごとの労作も行われます。

1807	21	幅広い教養（普遍性）に基づき独自の研究分野（特殊性）に取り組む場こそ、全人教育に根ざした玉川の大学院です。
1902	16	玉川では音楽を全人教育の理念の中で美的情操を育むために大切にしてきましたが、新たな教科の増加や教員の世代交代などを受け、音楽教育の意義を問い直す時期に来ています。
1906	1	人の成長には、安心できる心地よい場所から一歩外の世界に踏み出す“アドベンチャー”が必要です。自分の力で人生を開拓していく力は、体験や経験を通して得られた気づきや学びによって育まれます。同時に“アドベンチャー”をうながす環境づくりや、チャレンジを支える家族や教師、仲間たちの存在も欠かせません。TAPは創設以来、一貫して“アドベンチャー”を通じた全人教育を実践してきました。
2010	20	人間力と全人教育玉川学園は全人教育をその教育の基本に置いています。全人とは、学力と同時にここでいう人間力を兼ね備え、両者を統合した人格であるとされています。これらを兼ね備えた人、すなわち全人がもつ力を全人力と呼ぶなら、それこそ玉川学園の教育が目指す人間像なのでしょう。私たちが取り組んでいる人間力の見える化は全人教育の目指す人間像とも結びつき、玉川学園の教育の価値を高める研究プロジェクトであると考えています。
2101	22	教員と児童生徒がともに生活しながら学んだ玉川学園の塾教育は、全人教育の礎となるものでした。
2101	24	私学の存続や発展には、教育・研究活動を通じた建学の精神や創立の理念の展開が重要です。本学ではすべての学部で全人教育を継承しています。これは塾教育によって既に濃密な検証がなされました。
2104	25	「ナナイモ」とは先住民のことばで「人と人が出会う場所」。ナナイモ校地はこれからも玉川の国際教育の拠点として、全人教育の一翼を担います。
2105	8	幼稚部では「全人教育」という言葉を直接子どもたちに伝えることはありませんが、毎週行っている礼拝で、聖書の言葉を意識して全人教育になぞらえ、身近な出来事に例えて話しています。年長になると美化労作がはじまります。自分だけのための「掃除」ではありません。幼稚部がきれいになったらみんなが嬉しい。だからきれいにしようねと話して取り組みます。全人教育の理念が、子どもたちの生活の一部になっていると感じます。
2105	15	幼稚部から12学年までをひとつの学校として捉え、子どもたちの成長を見守っていくという玉川学園の基本方針は変わりません。創立者小原國芳は全人教育の実践のため、前例なきことに挑み続けてきました。その理念に基づき、守るべきものを守るとともに変化に対応する柔軟さをもって、より良い教育活動をめざしてまいります。

2105	20	岡田先生が全国各地で、新しい表現教育の普及展開をされる時、常に同行し感化されました。上演のための「やらせ演劇」ではない演劇的手法を用いた体験学習による人間力育成（『ドラマと全人教育』岡田陽）の実践普及に転換していく真っ只中でした。私が大学で仕事をするようになった大きなきっかけは、芸術応用分野の演劇的手法の活用が、学校教育に限らず医療・福祉、地域文化振興に役立つと確信を得たからです。
2107	26	美術や音楽、演劇などの創造活動を通して豊かな人格形成をめざす全人教育を掲げる玉川学園では創立期より陶芸が盛んでした。1939年東久邇宮殿下がご来園の際、小学部の焼窯室で児童の作陶を視察されたとの記録が残ります。
2112	2	スライドのみを使った通常のプレゼンではなく、全人的な調和のとれた新しいプレゼン方法をめざしました。課題への参加条件としては、オリジナルの音楽表現とプレゼンの双方を必須としました。
2112	7	全人教育とESTEAM ESTEAM教育の源流として、1990年代に英国で始まったArts Science、90年代半ばのSTS、2000年代米国のSTEM、07年以降のSTEAMにいたる潮流を野本教授が解説。

#### IV. 考察

文・文章を整理した結果、「全人」と「玉川っ子」という概念が、具体的な人物（それぞれ在校生、同窓生）に言及する形で使用される場合と、理念として言及される場合、そして、実際の活動として言及される場合とに大枠では分類できることが分かった。その上で、文脈に着目すると、在校生および同窓生を形作るものとして、玉川モットー、労作教育、音楽教育、スキー教育、健康教育、自由研究の実践者、体現者であり、それらによって困難に立ち向かう強さを有する人物像が期待されているように考えられる。

また、実践に関する文・文章から、玉川の教育実践として大きな役割を担っているものとして、音楽、労作、スキー、行事（体育祭、音楽祭、ペガサス祭など）が挙げられ、そのためには、教員が邁進しつづけることの重要性が見て取れる。つまり、「全人」や「玉川っ子」という概念の実現には、子供自身の成長に加えて、その実現に寄与する大人とりわけ教員の存在が欠かせない。

さらに、「玉川っ子」に比して、「全人」は、より理念・実践としての用法が多かった。「全人」という言葉が「教育」と共起する頻度が高いためと考えられる。また、冊子のタイトルにも使用されていることから、類出単語

であり、今回の分類手続きにおいては、内容を精査した上で除外したものも少なくはない。したがって、全人教育を通して完成される人格としての「全人」に言及した数は極めて限定されており、また、その内容の幅も狭いものとなっていることは、一つの特徴と考えられよう。

なお、「玉川っ子」は在校生、同窓生に言及する際に多用され、「全人」は理念としての用法が顕著であったことを受けて、次のように考察する。「玉川っ子」は、全人教育の理念が具現化したものとして使用されており、玉川学園・玉川大学という特定の土地・場所で学んだ者を総称する概念として使われている。

一方で、とくに「全人」の概念については、今後の課題も見えてきた。それは、この概念が都合よく解釈され、そして、執筆者の勝手な解釈の範囲で使用されている点である。必ずしも明確な論拠を伴うことなく、唐突に「全人」と当該事象を関連付ける強引な使用例が散見されたのも、ひとえに、「全人」という概念が広く認知されると同時に、その本質が必ずしも適切かつ的確に共有されていないことの証左ともいえよう。なお、そういった使用例は今回の検討からは除外していることに留意されたい。また、「全人」の概念が使われる文脈として実践に言及したもののなかで、具体的な実践事例の明示が伴うことは僅かであった。このことから、当該概念が、具体的なイメージをもって共有されていないことがうかがえよう。

#### V. おわりに

以上が今回のプロジェクトの報告となる。文・文章の抽出および分類によって、今回は考察を試みた。本来であれば、さらにデータを加工し、より詳細な分析にあてる必要がある。しかし、当初の計画とは裏腹に、古い『全人』の電子データが存在しないこと、そして、スキャンしても光学文字認識には耐えられないことが判明し、時系列データの蓄積を比較的近年に限定せざるを得ない状況となった。光学文字認識化が困難な資料については、人の手による作業が必要となるため、単年度の取り組みの範疇に留めず、本プロジェクトの計画書で既に触れているように、複数年度にわたる取り組みとすることの重要性が、改めて確認できた。今回のプロジェクトに関する報告書が契機となって、本学に山積する膨大な資料の整理、分類、そしてそれらの分析が促進されることを期待したい。

全人教育プロジェクト・メンバー (50音順)

相原 威 (工学部情報通信工学科)	佐久間裕之 (教育学部教育学科, 全人教育研究センター)
浅賀圭祐 (学術研究所高等教育開発センター)	杉山倫也 (教育学部教育学科)
朝日公哉 (教育学部乳幼児発達学科)	須田 忠 (Primary Division 幼稚部)
伊部敏之 (アカデミックサポートセンター)	田中昂文 (工学部ソフトウェアサイエンス学科)
今尾佳生 (教育学部教育学科)	中西郭弘 (Secondary Program Division 6-12年)
大森隆司 (脳科学研究所応用脳科学研究センター)	野瀬佳浩 (Primary Division 幼稚部・1-5年)
小原一仁 (教育学部教育学科)	長谷部啓 (Secondary Program Division 6-12年)
片野 徹 (学園教学部)	山口圭介 (教育学部教育学科, 教育学研究科)
工藤 亘 (教育学部教育学科, TAPセンター)	和田 裕 (教育情報・企画部)
後藤 健 (学園教学部)	渡瀬恵一 (理事)

別添資料1 (「全人」キーワード出現箇所一覧)

別添資料2 (「玉川っ子」キーワード出現箇所一覧)

## 資料1 「全人」キワーワード出現箇所一覧

年月	ページ	本文	備考	使用者
1311	10	ペガサス祭はまた、受け継がれてきた玉川学園の文化の集約でもあります。学園創立者は「教育の内容には人間文化の全部をもらねばならぬ」と、『全人教育論』の冒頭で語っています。玉川学園で、生徒が主となって動き、教員も共に知恵を絞り汗する行事を重視する所以です。	行事報告	川崎以久哉 (K-12教諭)
1312	7	『女性日本』誌という『全人』の前身になる機関誌の編集を、当時の女子高等部生（女子専門学校に相当）が労作として取り組んだ。	故きを温ねて「ホントの知育を成就せんが爲に労作教育が必要」	白柳弘幸 (教育博物館)
1401	8	小原記念館では、日本道徳教育学会の横山和弘会長による「教育の哲学としての全人教育」をテーマにした講演が行われた	玉川大学コスモス祭文学部展	編集者
1401	13	玉川学園に入学したのは高等部から。きっかけは、全人教育に感銘を受けていた母に勧められ、中学3年の秋、高等部の自由研究展の見学に初めて学園を訪れ、小原國芳先生と出会い、握手をしたとされた。	玉川の先輩を訪ねて	
1402	7	創立者小原國芳は、全人教育の中でもとくに音楽を重視し、心の機微や昂揚を音楽に託して深い感性を磨くべく、「音楽の生活化」を唱え、積極的に教育の中へ取り入れました。	特集 音楽のある学校	編集者
1402	17	「アフリカの地で全人教育を」と約40年間シエラレオネで活躍された根岸美智子先生が昨年11月、悪性リンパ腫のために急逝されました。	寄稿 根岸美智子先生召天に寄せて	菅野勝治郎 (玉川学園元教諭)
1403	3	後に玉川学園を創立する小原國芳にとって澤柳は、成城小学校主事にと広島から東京に呼び寄せ、成城を舞台に全人教育の提唱・実践に邁進の機会を与えてくれた恩師であった。	教育博物館蔵資料紹介	菅野和郎 (教育博物館)
1403	6	日本のSSHプログラムと国際標準と呼ばれるIBの教育プログラムは、共に玉川学園の理念である「全人教育」と親和性が高く、SSHの中にIBの教育プログラムを導入することによって、これまでになかった理科教育を実践しています。	SSH指定校 玉川学園の理科教育	渡辺康孝 (高学年教諭)
1403	13	本学園創立の翌年1930年、教育目標について「…個性を尊重し、自學を奨励し、能率高き教育を施し、科學的研究、自然に親しむ教育、全人教養…」(『日本の新學校』)と小原國芳は述べた。そして「教育の本質から當然生まれて来るところの勞作を本體」とした。	故きを温ねて「実験観察により科學的研究の方法を授ける」	白柳弘幸 (教育博物館)
1404	1	2014年4月、玉川学園は創立85周年を迎えました。全人教育や教育12信条を指標として、移り変わる時代と社会からの要請に応えるべく、つねに新しい教育に取り組んでいます。	特集 新しい玉川2014	編集者
1404	10	玉川学園は「国際機関へキャリア選択する全人的リーダーの育成」をテーマに、国際機関で活躍できる語学力、リーダーシップ育成の教育課程を研究開発する。	TAMAGAWA GAKUEN NEWS K-12 スーパーグローバルハイスクール指定	編集者
1409	3	『全人』がこれで終わるかもいれませぬ	目次	
1409	9	1944年2月、当時予科2年生の小原哲郎（後の総長）が応召。同年7月には『全人』誌が発行停止となる。その思いを小原國芳は「茲ここで暫しばらく一年だか二年だか、長期だが、止まるといふことは人間やはり惜しさとしんしさ…」『全人』がこれで終わるかもいれませぬ(『全人』第137号)とつらい胸中を吐露した。	故きを温ねて「全人」がこれで終わるかもいれませぬ	白柳弘幸 (教育博物館)
1410	1	世界の諸問題を解決へと導くグローバル・リーダーが求められています。多様性を認め、世界の諸問題と自分をつなげて考えられる想像力、相互理解をもたらすコミュニケーション能力と語学力、そしてリーダーシップを備えた人—その姿は、真・善・美・聖・賢・富の調和を目指す全人教育の理想像と重なります。	特集 グローバル・リーダーを育てる	編集者
1410	2	スーパーグローバルハイスクール（SGH）指定を受け、玉川学園が掲げた目標は「国際機関へキャリア選択する全人的リーダーの育成」。	第1回「グローバルキャリア講座」開催	編集者
1410	6	世界を舞台に社会貢献できる全人的リーダーを育てる	特集 グローバル・リーダーを育てる	碓合宗隆(高学年教諭)
1410	10	IBの教育理念は、玉川が掲げる「全人教育」「国際教育」などの教育信条と共通点が多いと言われています。		編集者

1410	15	IB教育において、子どもたちの学習はIBの理念—全人教育—を理解した上で始まります。「国際機関へキャリア選択する全人的リーダーの育成」を目標に、創立以来続く国際教育・国際交流の美績に加え、新たな試みの1つである「グローバルキャリア講座」がスタート。	学生
1410	18		TAMAGAWA GAKUEN NEWS K-12 グローバルキャリア講座
1411	9	長年の思索と成城での実践を基に、1921年8月、東京高等師範学校（現筑波大学）講堂で開かれた「八大教育主張講演会」において提唱したのが「全人教育」でした。	編集者 藤井百合
1412	1	全人教育は「真・善・美・聖・富」、これらの6つの価値の創造を目指し、追求することを教育の理想としています	編集者
1412	4	「小原國芳先生がデマンマーク体操を取り入れたのは全人教育のため。ともに演技を磨くことで人間関係を学び、人格形成につながっていることを心がけています」	編集者 工藤巨（教育学部）
1412	8	玉川学園の海外提携校は、7カ国に14校あります。ブラジルのサンパウロにある松柏学園・大志万学院は、玉川学園と同じ全人教育を教育理念に掲げる提携校。	編集者
1412	11	「事務室当番です。今日は何か仕事がありますか」「今日届いた全人を、各クラスに配ってください」事務室の先生方が学級ごとに分けた「全人」が、会議室の机の上に積まれています。今日の当番は桂組。まずは配り始める順番を相談。1年生からと決まると、各々が配布物を手に、各教室へと向かいました。	編集者
1501	1	玉川大学は全人教育を学びの根幹とし、社会のデマンドに応える人材の育成に力を入れています。	編集者
1501	14	「オヤジの全人教育」と題し米山弘氏と石橋哲成氏が小原國芳の魅力を語った	編集者 玉川大学コスモス祭文学部展
1501	22	玉川学園には、創立者小原國芳が掲げた全人教育に基づき長く続けられている教育活動があります。音楽祭や体育祭などの全学的な行事や取り組みのみにとまらず、それらは日々の学校生活に根づいています。礼拝はその伝統のひとつ。特定の宗教に依拠せず、神や仏、神聖なるものを尊ぶ宗教心を養う時間です。	編集者
1502	3	全人的医療で心身を支える 学園を守る診療所「健康院」	編集者
1502	1	玉川っ子の3つのやくそくとは、「きれいな心 よい頭 つよい体」。徳育、智育、体育によって、調和のとれた豊かな人間の育成を目指す全人教育。	編集者
1502	19	の全人教育の理念が生きていると感じます。	編集者
1503	25	スクーリングでは小原國芳先生の教えを受けた先生方から「全人教育」について学び、お手柄に触れる思いでした。	編集者
1504	9	教育12信条の「国際教育」「個性尊重」「自学自律」「自学自律」など、全人教育に通じる学びを持つ模擬国連	編集者 K-12 Report
1506	1	全人教育を土台とした「国際理解教育」の実践と経験から、教室と世界をつなぐ新しいバイリンガル教育の誕生です。	編集者 編集者
1506	15	小原國芳はのちに『全人教育』で、外国語の学習は「歌、暗誦、対話、劇」が大きな力になると述べた	編集者 白柳弘幸 (教育博物館)
1506	24	「地域の学校」は全人教育が原点	編集者 貝ノ瀬滋 (三鷹市教育委員)
1506	25	小原國芳先生から学んだ全人教育が新しい教育を進めるためのビジョンにつながりました。「人間力」と「社会力」を身につけた子どもを育てることは、私にとって生涯の目標なのです。	編集者 貝ノ瀬滋 (三鷹市教育委員)
1507	1	研究の第一義は「社会に役立つ」こと。玉川の研究は、学園創立の1929年に開設された玉川学園教育研究所を出発点としています。全人教育の実践と研究を足がかりに、文系理系の垣根を超えた、学際的で専門性の高い特色ある研究へと歩みを進めてきました。	編集者
1507	7	「全人的人間科学プログラム」が文部科学省21世紀COEプログラムに採択	編集者 玉川の研究 研究所沿革
1507	12	全人教育の理念と実践から、幼稚部～大学を通じた教育活動の充実を目指す。K-16一貫教育研究部門の理系、文系、バカロレア、幼児、小学校英語の5グループと日本語教育研究部門がある。	編集者 玉川の研究 学術研究所 K-16一貫教育センター

年月	ページ	本文	備考	使用者
1507	13	1945年、終戦の年の12月、小原は混乱している教育界に「國家再建は教育から」と述べ、「新生日本教育研究会」を開催。参加者は1,300名を超え、以後精神的に研究会を開催し「教育の玉川」の名を広めた。この頃の機関誌『全人』の表紙に「玉川教育研究所」と印字されている。教育研究所がふたたび活動を始めたことがわかる。	故きを温ねて 教育研究所の誕生	白柳弘幸 (教育博物館)
1507	32	『全人』読者は日常生活の中で「バイズ」という言葉に触れたり、ましてやそれを使う機会はほとんどないと思う。	Book Review	小林直樹 (観光学部)
1509	3	日本から世界へ大自然の中で行う全人教育	カナダ ナナイモ校地のあゆみ	編集者
1509	6	TAP (Tamagawa Adventure Program) とは、人間教育として提唱され、世界で実践されるアドベンチャー教育の理念と手法を、玉川の全人教育と統合させた体験学習プログラム。その実践と研究拠点がTAPセンターである。	カナダ ナナイモ TAPセンターとは	編集者
1509	24	小原記念館を会場として行われた第1回講演では、玉川の全人教育に受け継がれている田園教育塾の思想や、「真の新教育の代表者」としてのクルト・ハーンと国際バカロレア教育などが取り上げられた。	TAMAGAWA GAKUEN NEWS 大学 ラルフ・ケレンツ講演会 「新教育の歴史と現在」	編集者
1510	12	全人教育の一翼を担うデンマーク体操。心身共に力と技の向上をめざし、体育祭で大学生と力強い演技を披露。	特集 がんばるK-12クラブ活動 K-12クラブ活動一覧	編集者
1511	17	そうした教職員の熱意が伝わったのであろうか、「授業などは誰一人、一分の遅刻もないすばらしさ。先生方の片言半句も聴きのがすまじき吸収力……図書館は毎夜、十時まで煌こころ々とうと満員」と、スクーリングについて小原國芳が『全人』にその様子を書き綴っている。 「學問上の進歩は勿論のこと、ほんとうの人間らしい人間にしたい」となどの学生からの礼状が『全人』に載る。	故きを温ねて 授業などは誰一人、 一分の遅刻もないすばらしさ	白柳弘幸 (教育博物館)
1512	10	雄大で清らかな自然の中に身を置き、忍耐強く練習を積んで精神と身体を鍛錬するスキーに、創立者は全人教育に通じる理念を見出した。	800号記念『全人』でたどる玉川の 原点 スキー学校	小原芳明
1601	9	全人教育の理念に基づき、豊かな人間性を備えた教員を養成する教育学部。たくさんの子どもたちが来場するコスモス祭は、日頃の学修成果を生かす貴重な学びの場です。	教育学部展	編集者
1601	11	昨年は戦後70年。戦時下という日本の教育界の混乱期において玉川学園が実践したか。国策に対応しつつ、国民学校講習会開催や興亜工業大学の開校など、全人教育に邁進した学園の姿を貴重な写真でたどった。	全人教育研究センター 「戦後70年 写真で見える混乱期の玉川学園」展	編集者
1602	11	香川博士が「玉川には全人教育というすばらしい土壌がある」と評価した上で指摘したのは、生徒のグローバルな学びを仕組みとして学校に蓄積する必要性。「グローバルキャリア」の定義に関して質疑応答が行われるなど、活発な会となった。	特集 グローバル時代の アクティブラーニング	編集者
1605	3	「教師の側から知識を授けるよりも、まず知識をもとめる動機を子どもたちがもつような学校が、真の学校である」とは哲学者ジョン・デューイの言葉です。真マコトの教育、真の学校をめざす全人教育を土台に、TAP (Tamagawa Adventure Program) はこれからのグローバル社会に求められる生きる力を育みます。	TAPセンターが牽引する玉川の アドベンチャー教育	編集者
1605	4	全人教育	TAPセンターが牽引する玉川の アドベンチャー教育 (TAPを説明する図中での使用)	編集者
1605	24	「国際機関へキャリア選択する全人的リーダーの育成」。	研究エッセイ	横山純美 (K-12教諭)
1611	6	小原國芳は玉川学園の創立期に教育目標として「個性を尊重し、自學を奨励し、能率高き教育を施し、科學的研究、自然に親しむ教育、全人教養を徹底的にやつて見たい」(『日本の新學校』)と唱えました。	STEM教育と研究の拠点	編集者
1612	1	全人教育の理想を具現化するために収集された貴重な資料を誌上公開するとともに、世界的チェリストのガスパー・ル・カサドと日本人女性ピアニストの草分けである原智恵子夫妻に関する資料の目録公開を記念し、10月から始まった記念行事をレポートします。	特集 本物に触れる 玉川大学教育博物館	編集者

1612	6	神の教えに学ぶことは、玉川の全人教育の柱のひとつ。「よき宗教教育には、よき宗教画を」という創立者の思いから、教育博物館は71点のアイコンを中心に多くの宗教画を所蔵しています。	特集 本物に触れる 玉川大学教育博物館	編集者
1612	19	9～12年生対象の「国際機関へキャリア選択する全人的リーダーの育成」をめざすスパーグローバルハイスクールとしての取り組み。	TAMAGAWA GAKUEN NEWSK-12 中高生のための国際機関キャリア フォーラム2016	編集者
1701	23	会場には、実に多種多様な研究テーマがありました。この多様性こそ、一人ひとりの個性を大事にする玉川の全人教育の証です。		
1701	24	「一面の銀世界そのままが大宗教であり、大道徳であり、大芸術である」――創立者・小原國芳は全人教育の理想を実現するためにスキーを取り入れました。	研究エッセイ	大澤颯也 (K-12教諭)
1701	25	全人教育のために招いた「世界一」	玉川のスキー教育の歴史	編集者
1702	1	創立以来、玉川学園では人間性をより豊かに育むため、芸術を教育に取り入れてきました。演劇や舞踊など、身体を使って表現することは大切な活動であり、全人教育のひとつの象徴です。	特集 身体で表現する	編集者
1702	9	小原國芳は舞踊について「もともとと教育で大事にされねばならぬと思います。全人教育では欠かせぬ一つの項目です」(『全人教育』262号)と述べた。	故きを温ねて 舞踊を通して、子供たちの情操を 思う存分伸ばしてやりたい	白柳弘幸 (教育博物館)
1707	11	創立者小原國芳自身に留学経験はなかったが、欧米教育視察等を通して海外の動静を熟知していた。後年小原は「広く世界を知ったホンモノの日本人を自ざしての全人教育」(『全人教育』191号)でありたいと世界に向けた意義を語った。	故きを温ねて 広く世界を知ったホンモノの 日本人を自ざしての全人教育	白柳弘幸 (教育博物館)
1709	1	玉川大学では、Project Based Learning (課題解決型学習)を取り入れた授業を全学部で行っています。学ぶ者が主体的に課題と向き合い、問題解決を探る過程で知識や能力を獲得するというもので、探求心を育む「自学自律」、体験による知育・徳育を掲げる「労作教育」などの全人教育にも対応する手法です。	特集 プロジェクトに学ぶ	編集者
1710	12	全人教育で掲げる価値、「健」の実現を支える診療施設。	特集 学園を支える 保健センター健康院	編集者
1711	22	専門知識を持った教職員と児童、生徒、学生がともに発掘調査を行う姿は、全人教育の体現とも言えるものでした。	研究エッセイ	菅野和郎 (教育博物館准教授)
1711	24	小原國芳は著書『師道』(1974年)の中で、玉川学園の考古学の活動を全人教育の実践として挙げています。考古学の研究には知識も重要ですが、フィールドワークも必須となります。そのためには、自ら考え行動すると共に、他と協力しながら進めることも不可欠です。小原が目指した全人教育において、労作教育や自学自律の自由研究を師弟同行で実践し、発展させたひとつの形が、考古学研究会の活動であったといえるでしょう	研究エッセイ	菅野和郎 (教育博物館准教授)
1712	1	玉川では全人教育が掲げる6つの価値「真・善・美・聖・健・富」の「健」にあたる健康的な身体づくりにおいて、オレロップ国民高等体操学校の創立者ニルス・ブツクが考案したデンマーク体操(基本体操)を取り入れました。	特集 デンマークと玉川	編集者
1712	2	全人教育の理想実現へ	特集 デンマークと玉川	編集者
1712	5	「健全なる精神は、健全なる肉体に宿る」。創立者小原國芳が好んだ言葉です。玉川のデンマーク体操には、全人教育に基づく哲学が息づいています。	特集 デンマークと玉川	編集者

年月	ページ	本文	備考	使用者
1802	1	個性を尊重し、柔軟な感性を育む全人教育に共鳴したベルリン・フィルハーモニー管弦楽団員とは1998年から交流が続いています。	特集 音楽教育の伝統	編集者
1802	16	文部科学省国際統括官付の生田研一氏によるIB教育の普及に関する施策の説明があり、この日のためにシンガポールから来日したIBワールドスクール部門マネージャー、アシッシュ・トリヴェディ氏のIB教育が実践しているホリスティックな学習に関する講演と、本学きつての全人教育の研究者である佐久間裕之の講演を聞き終えるころには、玉川学園・玉川大学が日本におけるIB教育のパイオニアであることは必然だったと誰もが思ったのではないだろうか。	行事報告 全人教育の理念を共有する 第10回玉川大学国際バカロレア 教育フォーラム	星野あゆみ (教育学研究科)
1802	17	IBの教育と玉川の全人教育には、重なり合うところが多いことに驚かされます。IBが示す10の学習者像は小原國芳の全人観、IBがよりよい社会の実現のために推奨する奉仕と行動は労作教育、そして学習者が主体的に進める探究学習は自由研究に、ぴったり当りてはまるように感じます。	行事報告 全人教育の理念を共有する 第10回玉川大学国際バカロレア 教育フォーラム	星野あゆみ (教育学研究科)
1803	4	玉川学園IBクラス卒業生と玉川大学大学院IB教員養成コース履修生の対談では、玉川の全人教育とIBの教育が出会うとどのような人材が育つのか、楽しみながら理解していただけたのではないだろうか。		
1803	4	全人教育の理想を実現するために 創立期からの宗教教育		
1803	5	全人教育に欠かせないものを考究 宗教を主題にした京都帝国大学卒業論文		
1803	5	宗教教育の場は「礼拝」の時間だけではなく、知育、徳育、美育、体育などあらゆる領域に求められます。玉川の全人教育は、宗教を抜きにしては、考えられないものなのです。	特集 聖なるものに学ぶ	編集者
1803	9	礼拝や労作を通じて全人教育を理解する 玉川学園・玉川大学の歴史や教育理念である全人教育について学び、「聖なるもの」への理解を深めるための科目で、秋学期に開講。1年生全員が初年次教育の一環として履修しています。全15回の授業のうち、「礼拝」5回と「宗教講義」4が設けられており、学生は宗教の本質や宗教を学ぶ意義を考察します。このほかに学長、学部長による講話、「全人教育入門」の授業、学部ごとの労作も行われます。	特集 聖なるものに学ぶ	編集者
1803	10	真・善・美・聖の、4つの絶対価値の追求を掲げ、調和ある人間を育む全人教育を実践する玉川学園	特集 聖なるものに学ぶ	編集者
1804	5	玉川の広いキャパシスは、多様な命との関わりを考えるいい環境です。全人教育は、「私」のまわりのすべてのものを敬い、認め、調和することを説いていますね	特集 いきものに親しむ	編集者
1807	21	幅広い教養（普遍性）に基づき独自の研究分野（特殊性）に取り組みむ場こそ、全人教育に根ざした玉川の大学院です。	行事報告	相原威（工学部）
1812	1	創立者小原國芳が唱えた労作教育は、いままもなお玉川学園の伝統です。創立から89年、労作の実験精神は時代によってそのかたちを変えながらも、全人教育の礎であることに変わりありません。	特集 労作のこころ	編集者
1902	2	オーストリア国立スキー学校長だったシテファン・クルッケンハウザー教授との出合いを機に、指導者の草分けとなり日本のスキーを牽引してきた杉山進さん。自然の中で人間形成をめざすその理念は、全人教育と重なります。	特集 シュナイダーと玉川のスキー	編集者
1902	5	國芳先生は自分で吹雪を体験した瞬間に、スキーとは雪山や自然との対話だと見抜いておられる。だからこそシュナイダーの考えに共鳴し、スキーが全人教育の柱のひとつになっていったのでしよう。	特集 シュナイダーと玉川のスキー	杉山進 (スキー指導者)
1902	8	小原國芳先生は、全人教育の理想実現のためにスキーを教育に取り入れました。	特集 シュナイダーと玉川のスキー	大澤誠也(中学年教諭)
1902	12	玉川学園は90年前の創立以来、人道主義と調和の文化を中心に据えています。これらの価値は学園で学ぶ学生生徒、卒業生を支え、彼らの中で特別な形で生き続けています。「全人教育」の理想のもと、玉川学園は日本のみならず全世界で社会貢献できる人間を育てる方法を確立してきました。	オーストリア大使からの メッセージ	フーベルト・ハイッス (駐日オーストリア 大使)
1902	16	玉川では音楽を全人教育の理念の中で美的情操を育むために大切にしてきましたが、新たな教科の増加や教員の世代交代などを受け、音楽教育の意義を問い直す時期にきています。	行事報告	朝日公哉（教育学部）



1904	1	グローバルな課題に取り組み、解決へと導く人材が求められています。2014年、玉川学園は「国際機関へキャリア選択する全人的リーダーの育成」を掲げ、文部科学省からスパーグローバルハイスクール（SGH）の指定を受けました。	特集 SGHの歩み	編集者
1904	3	5年間の研究開発課題は「国際機関へキャリア選択する全人的リーダーの育成」。10年、20年後にそこで活躍する卒業生が出てくればと思います。	特集 SGHの歩み	破合宗隆 (高学年教諭)
1905	1	創立者小原國芳が「ゆめの学校」を思い描いて開校した玉川学園は、今年90周年を迎えました。6つの価値〈真・善・美・聖・健・富〉の調和と創造を人格形成の理想とする「全人教育」を不変の教育理念として、時代の流れに合わせた教育活動を展開しています。	特集 学園創立90周年	編集者
1905	2	夢の実現に向けた学生、生徒の挑戦と全人教育の接点を学長・学園長が説き明かした座談会。	特集 学園創立90周年 座談会	編集者
1905	4	クルト・ハーンはラウンダスクエアの設立の礎であり、「全人教育」を掲げた玉川の創立者、小原國芳と同時代の人でもある。	特集 学園創立90周年 座談会	小原芳明
1905	12	1929（昭和4）年の開校以来、玉川学園は多くの記録写真を残しています。それは「ゆめの学校」創立の過程を、また全人教育の実践を真実のまま伝えたいという創立者小原國芳の思いの表れでした。	写真で振り返る90年	編集者
1906	1	人の成長には、安心できる心地よい場所から一歩外の世界に踏み出す“アドベンチャー”が必要です。自分の力で人生を開拓していく力は、体験や経験を通して得られた気づきや学びによって育まれます。同時に“アドベンチャー”をうながす環境づくりや、チャレンジを支える家族や教師、仲間たちの存在も欠かせません。TAPは創設以来、一貫して“アドベンチャー”を通じた全人教育を実践してきました。	特集 TAPで学ぶ	編集者
1906	6	世界中で実践されてきたアドベンチャー教育を、日本で最初に導入。「行動する全人教育」をテーマに、自己冒険力をはぐくむ体験学習として、教育現場をはじめ、学内外の多様なニーズに応じる実践に取り組んできました。「TAPを通して全人の花を開花させてほしい」 TAPは「全人教育」を具現化するための、実践的で体験に根ざした教育手法のひとつです。子どもたちはそれぞれのタイミングで気づきを得て成長し、「真・善・美・聖・健・富」の6つの価値をバランスよく備えた全人として飛び立ち、社会で活躍してほしい。	特集 TAPで学ぶ	工藤亘（教育学部）
1906	7	また、チャレンジしてはじめて「夢」とはかなうもの。ですからTAPは、夢をかなえるためのひとつの教育手法。子どもたちが全人の花をきれいに咲かせるためのイイチ栄養素の役割を果たしたい。	特集 TAPで学ぶ	工藤亘（教育学部）
1906	16	TAPを本格的に体験したのは一年次セミナーのことです。楽しいだけでなく、自分自身を省みる機会になって新鮮だったし、入学の動機だった「全人教育」につながるものだと感じました。	特集 TAPで学ぶ	学生
1906	32	全人教育論は時代錯誤か 私は、著者が他界した後には生まれ代であるため、生前の著者の薫陶を直接受けてはいない。しかし、現在大学で「全人教育論」を担当するにあたり、自然とこの本が私の相棒となった。 1921年に産声をあげてから約100年となる全人教育論ではあるが、残念なことに、今、学内からもその存在は薄れつつある。	Book Review	小原一仁（教育学部）
1907	17	小學の児童25名と引率教員が玉川学園を訪れた。玉川と同じく「全人教育」を教育理念のひとつに掲げ、音楽教育も盛んな同校。	TAMAGAWA GAKUEN NEWS K-12 台北市立東湖國民小學との合同演奏会	編集者
1909	23	大学は毎日わくわくできて楽しかったですよ。驚いたのは内部進学した同級生の純粋さ。全人教育とはこういうところかと衝撃を受けました。	インタビュー 玉川の先輩を訪ねて	春木麻衣子 (文学部卒業生)
1912	14	千葉工業大学の前身である興亜工業大学は全人教育の理念のもと、1942年に玉川のキャンパスに設立、本学と深い縁を持つ。	TAMAGAWA GAKUEN NEWS 大学 玉川大学と千葉工業大学が 連携協定を締結	編集者

年月	ページ	本文	備考	使用者
2001	7	研究者に必要なのは、労作など全人教育で行われている、自分の手を動かして、自分の頭で考えて、好きなことを突き詰められる力かもしれませんね。	特集 働き方の今	齋藤武馬 (農学部卒業生)
2001	19	玉川の学び—全人的学習論の原点— 大学教育棟2014の2階ブックサロンで、全人教育研究センターが玉川学園創立90周年を記念した展示「玉川の学び」を開催。草創期の映像資料をはじめとして、貴重な写真資料をもとに、玉川の全人教育を解説した	玉川大学コスモス祭2019	編集者
2001	20	全人教育を掲げた興亜工業大学 2019年9月26日、玉川大学は千葉工業大学と連携協定を締結しました。締結の背景には玉川学園の創立者小原國芳が掲げた「全人教育」があります。千葉工大の前身である興亜工業大学が生まれたのは玉川の丘のこと。その歴史を振り返ります。	TAMAGAWA'S PAST and PRESENT	編集者
2001	21	興亜工大の学監となった小原國芳は『全人』（1942年6月号）誌上で、「工大教育の目標」を述べています。そこでは「全人教育」「労作教育」などを掲げています。「自ら学び、自ら体験し、自ら思索し創造」することや「技術家たると同時に全人であらねばならぬ」ことも強調しており、興亜工大の教育に玉川の教育と同じくするものがあったことが窺えます。	TAMAGAWA'S PAST and PRESENT	編集者
2002	11	スキーとデンマーク体操は全人教育における6つの価値のひとつ「健」の教育の礎で、創立期に“本物”の指導者を招いたことが原点 全人教育の理想を実現するために導入されたスキーとデンマーク体操。その伝統はK-12のスキー学校、体育祭で披露されるマスタゲームなど、玉川の教育に息づいています。	【スキー&デンマーク体操】	編集者
2002	14	1997年、玉川学園は世界的に行われてきたアドベンチャー教育を取り入れました。小学部（当時）5年生の林間学校でのことで、全人教育の実践につなげるためでした。	【TAPチャレンジコース】	編集者
2002	15	ラウンドスクエアを設立した教育者、クルト・ハーンが提唱する6つの理念は、玉川学園の創立者小原國芳が掲げる12の教育信条、中でも全人教育と重なる価値観を持っています。	【ラウンドスクエア】	編集者
2003	11	経営学部は高等専門部商科設置の約60年後に創設されたが、経営学部の「全人教育+グローバルな思考力」を重視するルーツは専門部商科の教育に既に見られる。全人教育は玉川教育を貫く棒のようなものである。	故きを温ねて 全人教育+グローバルな思考力	白柳弘幸 (教育博物館)
2003	16	講演に先立ち、午前中は、ワークショップ「小学校におけるTAPの取り組み」と「玉川の学び—全人的学習論の原点」に関するパネル展示と説明会が行われました。 午後の部の始まりは、基調講演です。本学園の石塚清章理事（K-12担当）が、「全人教育とアドベンチャー教育」をテーマに、玉川学園の教育とクルト・ハーン（Dr. Kurt Hahn）が設立した世界的な私立学校連盟のラウンドスクエア（Round Square）の理念（IDEALS）とTAP（Tamagawa Adventure Program）との関連性について講演しました。講演の最後には、全人教育の今日的手法としてのTAPの役割や展望が語られ、今後のTAPの発展によって示唆に富む講演でした。	行事報告	工藤亘（教育学部）
2003	17	玉川学園・玉川大学が大切にしてきた全人教育の理論と実践、そして「探究」について、専門の立場からの発表です。全人教育研究センター長の佐久間裕之教授は歴史的観点から、中西弘弘中学年教育部長は現在の教育実践の立場から、筆者は全人教育の新たな具現的な取り組みとしてTAPの立場からそれぞれ発表しました。 全人教育の具現化の一翼を担っているTAPセンターが、全人教育研究センターと共に研究を行い、玉川の学びの原点に立ち返ることは温故知新であり、教育の不易と流行を整理する良い機会だったといえます。 また幼稚園から大学院まで一貫して、全人教育の理論と実践の往還・統合をする有意義な時間でした。私自身、最高度の理想である全人を目指し、人づくり・指導者と支導者づくりに貢献したいと改めて決意した日となりました。	行事報告	工藤亘（教育学部）
2004	12	教員採用の現場では、教育者としての資質を備えた人物がこれまでに以上にも求められています。玉川大学で学び、巣立っていった卒業生たちは、確かな知識と全人教育の理念を礎に、各教育機関で活躍しています。	特集 学び続ける教師	編集者

2004	20	1929年の創立以来、歌い継がれてきた玉川学園校歌。音楽教育や合唱指導を専門とし、音楽の観点から全人教育を考究する筆者が、校歌の歴史を振り返るとともに、オーケストラ版の背景を読み解きます。	研究エッセイ	編集者
2004	21	雑誌『イデア』全人教育を世に問う出版社、「イデア書院」の設立は1923年にさかのぼる。	研究エッセイ	編集者
2004	30	また、周囲の環境や免責に配慮するとともに、外装のデザインには、日光を遮蔽しつつ風を効果的に取り入れるルーバーを用いた。このルーバーの光を通す孔は、実は全人教育の6つの価値「真・善・美・聖・健・富」を意味するラテン語のモジュール番号がモチーフとなっている。	学園日誌	小原芳明
2007	13	教育学部は、全人教育の理念を通して、豊かで調和的な人間性を備えた「人」の養成を目的に掲げています。ここでの学びが、やがて「夢」に向かって歩み続ける皆さんの支えとなり、明るい未来へ繋がっていくことを、心から願っています。	学部長メッセージ	小原一仁（教育学部）
2008	9	『善の研究』西田の代表的著書。天性自然を発揮するのが人間の「善」とする思想を説く。創立者は同書を講習会・講読会でたびたび用い、全人教育思想の形成において影響を受けた。現在は岩波文庫などで入手可能 『教育哲学』「全人教育の同感者」として教育の本質を解き明かす書（オンデマンド版で入手可能のほか、『高山岩男著作集』第6巻所収）。教師が心得るべき必要条件を論じる。	招かれた碩学たち 玉川ゆかりの哲学者	編集者
2008	12	真の教育には無条件の愛が不可欠であることを、小原國芳先生はキリスト者として、また教育者として確信していたのでしよう。私は学則の冒頭にあるこの一言からも、全人教育に込めた國芳先生の信念を感じるのです。	特集 哲学との出会い	岡田直丈 (学術研究所)
2008	20	忍苦百年！新日本はこれからだ、いよいよ教育戦だ！玉川の国家的使命は大きい。偉大なる覚悟を以って、丘に集まれ 全人教育に、労作教育に、個性尊重に、塾生活に、農業増産に、教育戦を戦う。 学園は至って平静、安心して来られ。 始業 九月六日	創立者からのメッセージ 玉川を支えることば	小原國芳
2009	4	図書館などを擁する複合型学修施設。入口に全人教育を象徴する6つの価値「真・善・美・聖・健・富」をラテン語で示したエンブレム掲げる。	特集 玉川の碑・像	編集者
2009	9	第二里を行け 創立者の揮毫。教育12信条のひとつで、全人教育を支える理念でもある。	特集 玉川の碑・像	編集者
2009	11	1967年、東京・大阪で開催されたベーターヴェン展で展示された像を創立者の希望で譲り受けて聖山に設置。2016年に現在の位置へ。創立者は「第九」を通して「全人」を形成したいと考えていた。	特集 玉川の碑・像	編集者
2009	13	小原の唱えた全人教育はベスタロッチの「教育思想の内容として3H即ちHead, Heart, Handと胸と手の三つの教育」の調和的発達を考えを元にし、それらに加えて真善美聖健富の6つの価値を調和的に身につけた人間形成をめざしたものであった。	故きを温ねて 小原國芳、ベスタロッチ賞受賞	白柳弘幸 (教育博物館)
2009	20	全人教育の思想のルーツはルソー、カント、ベスタロッチ、ナトルプらに連なる。明治になり、先哲らの思想がわが国にひろまった。小原がいつベスタロッチに出会ったのか、残念ながら「自伝」などからは見いだせない。	研究エッセイ	田澤里喜（教育学部）
2010	11	小原國芳は「子供は遊戯をしないと馬鹿になる」(遊ばない子は馬鹿になる)と言っていました。小原が言う「馬鹿」とは全人教育を踏まえると、勉強ができないということに限らず、生きる力のない人を指すと考えられます。	故きを温ねて いはんや、お國のためなんだ	白柳弘幸 (教育博物館)
2010	20	本学はキリストの教えを大切に、全人教育を掲げ、教育実践などに努めてきた。しかし、そうした自由主義的な教育方針は、軍部に好まれなかった。	研究エッセイ	大森隆司（工学部）、 山田徹志（学術研究所）
		人間力と全人教育 玉川学園は全人教育をその教育の基本に置いています。全人とは、学力と同時にここでいう人間力を兼ね備え、両者を統合した人格であるとされています。		
		これらを兼ね備えた人、すなわち全人がもつ力を全人力と呼ぶなら、それこそ玉川学園の教育が目指す人間像なのでしょう。		
		私たちが取り組んでいる人間力の見える化は全人教育の目指す人間像とも結びつき、玉川学園の教育の価値を高める研究プロジェクトであると考えると考えています。		

年月	ページ	本文	備考	使用者
2012	19	本人教育が掲げる6つの価値のうち一つ、「健」を支えているのがデンマーク体操です。その体操は以後、本人教育に基づく哲学とともに受け継がれています。	第92回体育祭 大学生	編集者
2101	12	玉川の創立者小原國芳と同時代に生きたドイツの教育者クルト・ハーンが唱えた冒険教育が、アドベンチャー教育のルーツ。TAPはその哲学・手法を取り入れ、本人教育を根幹に展開されている	特集 健やかな心身	工藤亘 (教育学部)
2101	22	教員と児童生徒がともに生活しながら学んだ玉川学園の塾教育は、本人教育の礎となるものでした	研究エッセイ	山岡好夫 (農学部)
2101	24	私学の存続や発展には、教育・研究活動を通じた建学の精神や創立の理念の展開が重要です。本学ではすべての学部で本人教育を継承しています。これは塾教育によって既に濃密な検証がなされました。	研究エッセイ	山岡好夫 (農学部)
2102	24	のびのびとした校風のプナホウ校は玉川学園と同様に本人教育を理念に掲げ、すべての園児、児童、生徒に適応力、創造性、協調性、革新性が養われることが教育目標です。	K-12海外交流校レポート	山中啓道, 篠原早織 (玉川学園アカデミックサポーターセンター)
2103	2	その頃、小原は成城で行ってきた教育をより充実させ、塾教育と労作教育を軸とした本人教育を実現すべく、多摩丘陵南端の南多摩郡本町田 (現町田市) の土地を取得。29年4月の玉川学園開校に至る。	玉川なまえ辞典	編集者
2103	3	聖山の東側9合目に礼拝堂が建立されたのは1930年9月。小原が敬愛した社会事業家・宗教学者の本間俊平の名を冠し「本間記念礼拝堂」と呼ばれた。本間が玉川学園出版部 (当時) から刊行した書籍の印税を建設資金としたことによる。以来、礼拝堂を擁する聖山は本人教育を支えてきた。	玉川なまえ辞典	編集者
2103	6	3階にはデンマーク体操の練習場としてつくられた体操場がある。本人教育における6つの価値のひとつ。「健」の礎を、デンマーク体操とする玉川学園は、デンマーク・オレロップ国民高等体操学校 (現オレロップ体育アカデミー) の東洋分校である。	玉川なまえ辞典	編集者
2103	7	玉川の剣道の歴史は創立期に遡る。小原國芳は玉川学園初代剣道師範の佐藤貞雄範士九段に「人づくりの剣道」を求めた。佐藤師範は、「日本文化の国家國芳たる武道」を学ぶ、「本人教育における人間修行道場」とするために創立者の名を載せ、國芳殿と命名したと述べている。	玉川なまえ辞典	編集者
2103	11	名称は、偏りのない全人をめざす玉川の精神、「玉川魂」を意味する。	故きを温ねて 小原國芳氏の一生の事業を援助	白柳弘幸 (教育博物館)
2104	4	成城入り後の1921年8月に「本人教育論」を発表し、11月に農園誌『教育問題研究』を創刊。成城小学校校長澤柳政太郎が主導する自由主義教育を世に広めた。	特集 玉川の挑戦	編集者
2104	11	授業では本人教育が掲げる6つの価値「真・善・美・聖・健・富」を柱に、ベーターヴェン (1770-1827) の人間性、健康、信仰などを資料やイラストを用いて解説。	故きを温ねて 開拓者たれ!	白柳弘幸 (教育博物館)
2104	16	本人教育を提唱した小原國芳が玉川学園を開校したのは、知育偏重に陥りがちな当時の教育への挑戦であった。創立直後に著した『玉川塾の教育』の中で「開拓者たれ」と、自らを奮い立たせる言葉を述べている。	History of TAMAGAWA	編集者
2104	25	玉川学園創立の翌年、聖山の山頂に近い東側に建てられた礼拝堂は、2020年に献堂90年を迎えました。「玉川の心臓」と呼ばれた本人教育の拠り所は、学内で最も大切にされている場所です。 玉川大学は学則の第1条で、キリストの教えに倣い本人教育をもって教育精神とすること、宗教、芸術教育を重んじて浄きよらかな情操を養成することを謳っています。小原が礼拝堂を必要としたのは、宗教教育こそ本人教育の根幹を成すと考えたからです。 「プナイモ」とは先住民のことばで「人と人が出会う場所」。プナイモ校地はこれからも玉川の国際教育の拠点として、本人教育の一翼を担います。	K-12海外交流校レポート	編集者

2105	<p>1</p> <p>全人教育とは、1921（大正10）年8月に開かれた「八大教育主張講演会」で、当時成城小学校の主事をつとめていた小原國芳が初めて提唱した教育理念です。全人教育の理想を実現する「ゆめの学校」として、玉川学園は1929年に創立されました。提唱から100年。全人教育はいまなお教育界に大きな影響を与えつづけ、全人教育を掲げる教育機関の広がりに。理念の普遍性が示されています。100年の節目を迎えた2021年5月号では、全人教育の誕生から発展にいたるあゆみを振り返るとともに、教育研究活動の第一線にいる教員に「全人教育」についてうかがいます。</p>	<p>特集 全人教育100年</p>	<p>編集者</p>
2105	<p>2</p> <p>「全人教育」の誕生と広がり「全人」という言葉は今日、文部科学省をはじめとして、全国の初等中等教育機関に加え、高等教育機関でも国公立・私立を問わず広く使われ、一般名詞となりました。玉川学園を支える全人教育の誕生から広がりまでをたどります。</p> <p>哲学者・西田幾多郎（1870-1945）。京都帝国大学教授で、2の朝永らとともに全人教育思想形成において創立者小原國芳に影響を与えた</p> <p>京都帝大哲学科での小原の卒業論文「宗教による教育の救済」の草稿。のちに『教育の根本問題としての宗教』として出版。小原は「吾人の要求する教育は結局心身の調和せる発達」「全人の教育である」などと主張</p> <p>小原は「平凡な名前」として「全人教育」を紹介し、論じた。知情意において調和ある人格を意味する「全人」は、京都帝大在学時から著述に用いていた言葉であり、概念だった</p> <p>8月8日、30代半ばの小原國芳が、日本で初めて全人教育を提唱した八大教育主張講演会での言葉です。聴衆を魅了する舌鋒は鋭く、入学試験のための詰め込み教育や売名目的の運動ばかりの教育——それは現代でも見られますが——など、特定の主義・主義に偏った教育を「ウソの教育」、「殺人教育」と批判し、中庸を行く「真実の教育」を要求しました。その闘争の旗印が全人教育だったので。</p> <p>國芳が求めたのは、この世界にただ一回のみ出現した一人一人を大切に扱い、それぞれに必要なすべてを包摂する教育でした。心身からなる「人」には、心育（真育・善育・美育・聖育）と身育の両方が不可欠です。さらに生きていくためには「実際の教育」も欠かせません。これらを盛り込み「総合的人格」の涵養をめざす全人教育によって、「人らしい人」を育てることが、彼の理想でした。</p>	<p>特集 全人教育100年</p>	<p>佐久間裕之 (教育学部)</p>
2105	<p>3</p> <p>小原は全人教育の完成をめざし、宗教教育、塾教育、労働教育、芸術教育などを重視した学校として創立した特筆すべきは、「人らしい人」が没個性的なものではなく、一人一人において個性豊かに実現すると見られていた点です。國芳は、全人教育によって唯一無二の「尊き自己」を発見し、「自己らしく」生きることが、各人にとつて「真に幸福」なことであり、同時に「世界もそれだけ幸福になる」と確信していました。</p> <p>全人教育提唱から100年。國芳の時代の種は、今や全国に広がり、海外でも注目されています。日本の教育課題となった「生きる力」は、「全人的な力」と説明され、「誰一人取り残さない」世界へ向けたSDGsや「互いに尊重し合える」未来社会（Society5.0）への取り組みも、一人一人を大切にすることで、全人教育を必要としています。教育の本質に迫る國芳の主張は、21世紀の今、生き続けているのです。</p> <p>1929（昭和4）年「全人教育の立場からホントの真を掴み（略）聖の世界のわかる人間を養成せんがため」（小原）、玉川学園創立。幼稚部、小学校、中学校開校。1930年に高等女学校開校</p> <p>1996（平成8）年 中央教育審議会（中教審）第一次答申が「[[生きる力]は全人的な力]と言及</p> <p>2014（平成26）年 教育再生実行会議第五次提言が「義務教育は、一人一人の有する能力を伸ばしつ、（中略）知・徳・体をバランスよく育てる全人教育が必要」と記述</p>	<p>特集 全人教育100年</p>	<p>佐久間裕之 (教育学部)</p>

年月	ページ	本文	備考	使用者
2105	6	<p>玉川で学んだK-12・大学の現職教員に、全人教育の学びの振り返りと、現在の実践などをうかがいます「人」を育む全人教育の普遍性</p> <p>國芳はまた「教育に全人という言葉を冠したくない」とも述べています。教育と言えば全人教育をさす存在にした。ただ、言葉を冠さない人に説明ができないため、止むを得ず全人教育と名付けました。それだけ全人教育における6つの価値には普遍性があると考えていました。</p> <p>時代とともに、社会は変わります。それぞれの時代に合わせた全人教育の実践方法があつていい。しかし、その根幹にあるべきものは、やはり普遍的な6つの価値を大切にしたい教育観であると、私は考えます。豊かな人間性を内包した子どもたちにも、無限の可能性を信じられる「夢」のある生き方をして欲しい、その願いも普遍的であり、それ故にいつの時代も全人教育が教育の完成形であり続けるのだと思います。100年の節目を迎えましたが、ゴールではなく皮切りとして、今とこれからの全人教育を発信していきたいです。</p>	<p>教員インタビュー 「わたしと全人教育」</p>	<p>小原一仁 (教育学部)</p>
2105	7	<p>演劇専攻では、舞台創造の学修で観客からいただく拍手に喜びを感じ、仲間との作業やスタッフとして舞台を支えることに感動を覚えました。中学部での労作にもつながる経験だったと思います。全人教育の中にある、協働で何かを創る体験教育という点では、演劇も労作も同じ目的を持っており、実りある学びでした。</p>	<p>特集 全人教育100年</p>	<p>菊地芳子 (芸術学部)</p>
2105	8	<p>幼稚部では「全人教育」という言葉を直接子どもたちに伝えることはありませんが、毎週行っている礼拝で、聖書の言葉を意識して全人教育になぞらえ、身近な出来事に例えて話しています。</p> <p>年長になると美化労作がはじまります。自分だけのための「掃除」ではありません。幼稚部がきれいになったらみんなが嬉しい。だからきれいにしようねと話して取り組みます。全人教育の理念が、子どもたちの生活の一部になっていると感じます。</p> <p>高校生の頃、川崎以久哉先生に「全人教育って難しく感じるかもしれないけれど、きれいな心、よい頭、つよい体の3つの約束のことなんだよ」と教わり、自分の中でストンと落ちるものがありました。</p>	<p>特集 全人教育100年</p>	<p>佐々木梢 (幼稚部)</p>
2105	10	<p>でもキリスト教の礼拝堂でお坊さんが講話したりするのは不思議でした。「なぜキリスト教と仏教がいつしよに？」と。疑問は、文学部教育学科で全人教育を、宗教の観点から研究するきっかけになりました。玉川の全人教育では、宗教は信仰のためではなく、いかに生きるかを学ぶためのもので、礼拝堂はその修養の場である——これが私の得た結論でした。</p> <p>高等部では「馬鹿になれ、大馬鹿に！」という國芳先生の言葉を、先生方から何度も聞きました。全人教育は多様な経験を積むことを大切にしますが、最終目標は個性尊重。子どもたちは、自分の個性を見つければなりません。でも本気にならないと、対象が自分に合っているかわからない。だから「馬鹿になる」必要があるのです。とにかく楽器を吹きたくて毎朝、朝会直前まで吹奏楽の練習をして教室に駆け込んでいました。そんな私に「川崎、ラッパがすべてではない、本を読みなさい」と論してくれた担任の沢柳宏先生は、全人教育の中、ひとつに偏ることなく調和的な人間になるようにと導いてくれたのだと感じます。</p> <p>部の仲間、楽器が上手で運動神経抜群、英語の成績はトップクラス、どんな相手とも分け隔てなく付き合い、誰もが一目置く生徒がいました。國芳先生が考える理想の生徒は、こういう人間なのかなと思ったりしていました。いま、私が全人教育における理想の生徒像を問われたら、「私はこれを夢中ですよ」「彼・彼女は、こんな面白いことをやっています」と素直に言える生徒をイメージします。</p>	<p>特集 全人教育100年</p>	<p>川崎以久哉 (6-12年)</p>
2105	11	<p>今年是小原國芳が「全人教育」を創唱し100年を迎える。その主張は依然として色あせない。色あせないどころか、今日の教育事情をみると「全人教育」はますます必要とされているように思う。教育の問題は常に古くも新しい。「全人教育」は国語や算数といった教科教育、幼児教育から社会人教育にも通用し、男女の別も問わない。</p>	<p>故きを温ねて 全人教育の原点</p>	<p>白柳弘幸 (教育博物館)</p>

2105	13	2021年 は本学の教育信条である全人教育提唱100周年の年です。提唱されたのは1921年8月8日ですが、父哲郎はよく、「八は末広がりが、そして八の踏ん張り」と縁起の良い数字だと言っていました。「全人」という言葉を教育方針に取り入れる学校も増え、15年ほど前にすでに2,500校ほどにまで上ってしまいました。この100周年を期して、今秋には全人教育をテーマに、ハイブリッド型の国際会議を予定しています。全人教育が目指すもの、具体的な教育活動、20世紀に提唱された教育思想を21世紀にいかに変革させていくのかなどが課題です。	小原芳明
2105	15	幼稚園から12学年までをひとつの学校として捉え、子どもたちの成長を見守っていくという玉川学園の基本方針は変わりません。創立者小原國芳は全人教育の実践のため、前例なきことに挑み続けてきました。その理念に基づき、守るべきものを守ることもに変化に対応する柔軟さをもって、より良い教育活動をめざしてまいります。	渡瀬恵一（初等中等教育担当理事）
2105	20	岡田先生が全国各地で、新しい表現教育の普及展開をされる時、常に同行し感化されました。上演のための「やらせ演劇」では新しい演劇的手法を用いた体験学習による人間力育成（『ドラマと全人教育』岡田陽）の実践普及に転換していく真っ只中でした。私が大学で仕事をすようになつた大きなきっかけは、芸術応用分野の演劇的手法の活用が、学校教育に限らず医療・福祉、地域文化振興に役立つと確信を得たからです。	太宰久夫（芸術学部）
2106	18	ペーパークリエーションの第九をドイツ語で合唱したことも、良い経験です。全員が渾然一体となって調和し、我を忘れるような感覚に、全人教育の一端を体感しました。体育祭や芸術鑑賞、コスモス祭でのゼミ発表も、私の教育観、人生観の基礎になると思います。	学生
2107	26	美術や音楽、演劇などの創造活動を通して豊かな人格形成をめざす全人教育を掲げる玉川学園では創立期より陶芸が盛んでした。1939年東久邇宮殿下がご来園の際、小学部の焼窯室で児童の作陶を視察されたとの記録が残ります。	編集者
2109	2	学科を一新して学修環境も整い、芸術学部の領域がより明確になりました。ですが学びの本質は変わりません。文学部芸術学科が開設された1964年以来、全人教育をベースにした芸術教育に取り組んでいます。	玉川発見伝
2109	20	日本で新教育運動が興おこり、玉川学園が開校した20世紀初頭、台湾各地に新教育が芽吹いていたことをご存知でしょうか。現在も台湾の学校教育の潮流のひとつとなっている全人教育の歴史と実践を、現地調査を元に紐解きます。	特集 Artsで社会をつなぐ 台湾にみる全人教育のひろがり
2109	21	台湾の全人教育 研究の充実のため、当時の教育事情を学校所蔵文書からもとらえようと、2010年に降たびたび台湾各地の学校で調査訪問しました。嘉義市の崇文國民小学（旧玉川公学校）では、校舎に「全人教育溫馨校園」の掲示を見ました。台北市立第一女子高級中学（女子高等学校）では「豊かな人文素養を育て上げ、全人教育の理想に」などと載る日本語学校案内冊子など、各地で思いがけないものを見いだしました。台中市の私立常春高級中学創立者の李園會校長は『小原國芳全人教育論』を著していただきました。これらから、現在の台湾で全人教育がひろがっていることに気づいたのでした。	特別寄稿 台湾にみる全人教育のひろがり
2109	24	共同研究者の一人であり、日本と台湾で博士号を取得した陳虹彪氏（平安女子学院大学准教授）に、台湾で全人教育という言葉はどのようなように理解されているのかを聞く、「知育に偏重しないバランスの良い人間を育てること」と即答されました。全人教育という言葉は、台湾ではひろく知られている教育用語になっていたのです。戦前の東アジアの各地での新教育の実践や、現在の全人教育の取り組みについては日本国内ではまだよく知られていないようです。全人教育研究を共に行い、玉川学園・玉川大学からその成果を発信できれば、全人教育の新世紀の第一歩となるのではないかと思います。	特別寄稿 台湾にみる全人教育のひろがり
2109	32	教職課程の必修科目「全人教育実践演習」は、創立者小原國芳が理想に掲げた教師像を理解し、各自の資質能力の自覚とその向上をめざし、担任が指導するクラス単位の授業。全人教育は「協働」を大事にしています。私たちもクラスで団結できそうなテーマを探り、タグの制作を選びました。『全人教育の歴史と展望』2021年、玉川学園の創設者である小原國芳が「全人教育」を提唱して100年が経った。彼の唱えた「全人教育」とは何だったのか、また現代の教育にどのような息づいているのか――。	ものづくり図鑑 刊行案内
2110			編集者／学生 編集者

年月	ページ	本文	備考	使用者
		<p>本人</p> <p>全人教育の歴史を振り返り、理念と未来を語る 1開幕の挨拶に立つ小原芳明理事長。「全人教育は、もはや一般名詞として普及している」。原点としての玉川のあるべき姿を語った 2全人教育の6つの価値を板書で説く創立者の小原國芳。肉声とともに動画で紹介された 3國芳の揮毫にる全人教育の6つの価値</p> <p>プラトンは「真・善・美」の3つを挙げた。アリストテレスはその上に「最高善」というものを置き、のちにカントが「聖」と名付けてくれた。この4つが、私は絶対価値だと思う。真・善・美・聖の4つの絶対的理想を実現する手段として「健」、そして「富」が考えられる。この6つがきれいにそろった人を、私は『全人』と呼びたい。創立者小原國芳による「全人」の定義です。</p>	RESEARCH REPORT 全人教育提唱100年記念 シンポジウム	編集者
2111	18	1921（大正10）年の「八大教育主張講演会」で提唱された全人教育。その理念を問い直し、展望を考える記念シンポジウムが開催され、約500人が視聴しました。 <p>玉川の全人教育を辿る動画、小原芳明玉川学園理事長の挨拶に続き、玉川大学教育学部全人教育研究センター長の佐久間裕之教授が司会を務め、3人の研究者が全人教育について多角的に検証し、提言と意見を交わしました。</p> <p>小原國芳の随筆「全人教育」を執筆した石橋哲成玉川大学名誉教授は、全人教育提唱の背景を中心に提言。京都帝国大学哲学科の卒業論文に「全人の教育」と書かれていたことから、礎となる理念が学生時代から育まれていたと解説。子供一人ひとりを「全人」であると捉え、教師には子供の全人的資質を見抜く眼力が必要と主張しました。</p>	RESEARCH REPORT 全人教育提唱100年記念 シンポジウム	編集者／福井一光／ 丹羽秀樹
2111	19	玉川大学教育学部長の小原一仁教授は、実学主義と教養主義に二分された現状を分析し、実学重視の教育が立身出世の手段や権威主義につながっていると指摘しました。小原國芳はこのような傾向の教育を「ウソの教育」と喝破し、一方「マコトの教育」である全人教育とは、主義主張にとらわれず、永劫に普遍妥当性を有する堅実な教育と説いたことを小原教授が語りました。そして子供の夢を大人が先回りして決めたり、狭めたりしないために、今こそ全人教育の原点に立ち返るべきと締めくくりました。100年を経てなお色褪せないばかりか、世界へと広がる全人教育。その真価を改めて示したシンポジウムでした。 <p>小原先生だっただら何語るだろうか 私の祖父は5人の子供全員を玉川学園に通わせました。私も当然のように玉川で自由闊達に成長しました。いま有り難く思うのは、小さい頃から小原先生に接してきたことです。いつも「小原先生だっただら何を語りかけるだろう」と考え、全人教育を実践しています。</p> <p>令和の時代にこそ求められる教育理念 私も卒業生です。全人教育は私の政治活動における重要な指針です。社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難な時代に求められる教育こそ、全人教育ではないでしょうか。玉川モットーを改めて胸に刻み、政治活動に取り組みたいと考えています。</p>	RESEARCH REPORT 全人教育提唱100年記念 シンポジウム	小原芳明
2111	30	WEFと全人教育。共に100年の歴史を刻み、21世紀の今からを展望する WEFが誕生した1921年は、小原國芳が「八大教育主張」講演会で初めて「全人教育」を提唱した年でもあった。新教育の理想を掲げ、共に100年の歴史を歩んできたこととなる。この世に生まれてきた唯一無二の子供の個性を大切に尊重し、真に幸福に生きるための教育こそが全人教育であると國芳は論じた。均一化された教育を批判し、一人ひとりの子供がもつあらゆることを人として生きるための萌芽だとして、全人的な存在だと説いた。全国に全人教育を語って歩いた教育行脚で國芳は笑い、涙し、気焔を吐いた。	学園日誌	
2112	2	スライドのみを使った通常のプレゼンではなく、全人的な調和のとれた新しいプレゼン方法をめざしました。課題への参加条件としては、オリジナルの音楽表現とプレゼンの双方を必須としました。	特集 ESTEAM教育の展望	編集者
2112	4	当初は奏学祭だったが、ESTEAMは全人教育から繋がる学びであり、創立時の校名にある「學」とした（上）	特集 ESTEAM教育の展望 奏学祭	編集者
2112	7	全人教育とESTEAM ESTEAM教育の源流として、1990年代に英国で始まったArtsScience、90年代半ばのSTS、2000年代米国のSTEM、07年以降のSTEAMにいたる潮流を野本教授が解説。	特集 ESTEAM教育の展望 奏学祭	編集者



## 資料2 「玉川っ子」キーワード出現箇所一覧

年月	ページ	本文	備考	使用者
1305	7	玉川っ子参戦の軌跡とともに、その歩みを振り返ります。	ロボカップの歩みと、玉川の挑戦	
1305	13	授業や課外活動、行事などで様々な役割を担う玉川っ子たち。	K-12学びの丘、4年生お手伝い係	編集
1306	7	教科指導や生活指導などに目まぐるしく過ぎゆく毎日であるが「玉川教師訓」「進みつ、ある人のみ人を教ふる権利あり」の言葉は、玉川っ子教師への遺訓と言えるだろう。	創立者小原國芳の遺した玉川教師訓	白柳弘幸
1306	13	2013年度は、白い刺繍の校章と小さなリボンのついた濃紺の帽子が可愛い128名の新1年生が、玉川っ子の仲間に加わりました。	K-12学びの丘、4年生お世話係	編集 吉川清美
1306	13	入学式で玉川っ子宣言をする1年生にマイクをむける4年生	K-12学びの丘、4年生お世話係	編集 吉川清美
1309	13	登下校の時間を利用して、班ごとに校舎から正門までつづく通学路を歩き、見つけたゴミを“玉川っ子の誇り”と書かれた用具を使っています。	K-12学びの丘、7年生のゴミ拾い当番	編集 吉川清美
1402	1	“玉川の一日は歌に始まり、歌に終わる”<略>それは丘を築立った後も玉川っ子の心の芯となって、消えることがありません。	特集 音楽のある学校	編集
1402	5	「私の夢はゼビ、オーケストラも、四人の独唱者も、指揮者も、歌い手も、みな学園で、いつかははってみたいのが念願だったのです。……今はじめて、全楽章を全部、玉川っ子たちだけでやれたのです」(『全人教育』235号より)	特集 音楽のある学校	小原國芳
1402	17	極貧の地で母親のように子どもたちを愛されるシスターの姿は、玉川っ子にとって隣人愛のお手本でした。	根岸美智子先生召天に寄せて	菅野勝治郎
1406	7	今日から皆さんは「玉川っ子」です。玉川っ子には「きれいな心、よい頭、つよい体」の3つの目標があります。	入学式訓示 「きれいな心、よい頭、つよい体」の3つの目標	小原芳明
1406	7	玉川っ子どうし仲良くしてくださいね。周りの人たちに優しくなる「きれいな心」を持つとお友達が増えます。	入学式訓示	小原芳明
1406	7	玉川っ子の大切な3つの目標を持った素晴らしい人となってくださることを、お父様、お母様、そして先生たちは楽しみにしています。	入学式訓示	小原芳明
1406	7	さあ、みんな今日から玉川っ子です。「きれいな心、よい頭、つよい体」の玉川っ子となることを約束してください。	入学式訓示	小原芳明
1406	12	新入園の年少りす組が、玉川っ子の一員となり、幼稚園での生活をスタートさせました。	K-12学びの丘、年長しか組のお世話当番	編集 吉川清美
1406	12	合言葉は、「きれいな心、よい頭、つよい体」。徳育、知育、体育を調和的に育むことで、豊かな感性と人間性とを兼ね備えた“玉川っ子”になってほしいと、K-12の教育目標に掲げられています。	K-12学びの丘、年長しか組のお世話当番 K-12教育目標	編集 吉川清美
1406	14	私自身、プロとしてどのような仕事するようになって、根底には、純粋に真っ直ぐに物事に立ち向かう、「玉川っ子」の精神がある。これは一生大切にしていきたいと思っている自分らしさのひとつです。	SHOKO	SHOKO
1407	1	また学園と家庭とが相互に連携して、子どもたちと向きあう教育環境は、学ぶ意欲と生きる力を備えた「玉川っ子」を育む土壌となっています。	育つ育てる育ちあう	編集
1407	10	「きれいな心、よい頭、つよい体」桜咲く4月の入園式で、小原芳明学園長が“玉川っ子の3つの約束”として園児に語る言葉	幼稚園の1年	編集
1407	31	後見を務めたのはご子息で、本学園の国際バカロレア (IB) クラスに在籍している玉川っ子である。		小原芳明
1410	7	幼稚園から玉川っ子でIBクラスに進みました。ラウンドスクエア実行委員として第1回「たまたまがわ会議」を企画。	グローバル イベント	石川裕伊登 (高等部卒業生)
1411	24	教諭の指示だからでなく、当番だからでなく、自分の仕事として率先して動ける児童たち。朝の学校では、そんな頼もしい玉川っ子たちに出会えます。	K-12学びの丘、4年生学校当番当番 しか組のお世話当番 K-12教育目標	K-12学びの丘、年長 しか組のお世話当番 K-12教育目標

年月	ページ	本文	備考	使用者
1411	29	玉川っ子らしい柔歌さがあれば、どんな場でもどんな仕事でも自分の居場所を見つけてくれるはずですよ。	就活	編集 玉居子精宏
1412	16	ニューヨークと東京には十三時間の時差があるから、地球の反対側同士である。そこで活躍している玉川っ子に声援を送り、引き継ぎ競争に負けないことを祈ってやまない。	同窓会	小原芳明
1502	1	玉川っ子の3つのやくそくとは、「きれいな心、よい頭、つよい体」。徳育、智育、体育によって、調和のとれた豊かな人間の育成を目指す全人教育。その理念は今もなお、玉川の丘に息づいています。	特集 きれいな心 よい頭 つよい体	編集
1504	4	玉川っ子スパーブレイゼンテーション「聞いてください」2015	玉川学園展 低学年	
1504	4	「玉川っ子になって」	玉川学園展 低学年	
1504	4	玉川っ子の自由研究	玉川学園展 低学年 ドールハウス	4年松組市川怜加
1505	26	授業や課外活動、行事などで様々な役割を担う玉川っ子たち。	K-12学びの丘、中学年リーダー会のスポーツ大会実行委員	編集
1509	11	それから40年、何人の玉川っ子がナイモの地を踏んだのだろうか。	今日から太平洋はだんだん小さくなるでしょう	白柳弘幸
1512	2	玉川っ子の手本となり支えとなり励みとなるモットー、時を超えて、色褪せずあたたかく力強い。	学園日記、玉川モットー	編集
1512	5	『愛吟集』は塾生の選曲で編まれた歌集だ。「音楽の生活化」が掲げられ、合唱祭、第九合唱などの行事が大切に受け継がれてきた。今も各部で音楽祭が開かれ、歌が玉川っ子の心をつなぐ。	音楽祭	編集
1512	5	みんながそこに立っているようだ。同じ歌、同じ玉川っ子。	「第九出演者の声」	金城哲夫
1512	9	玉シヤツは第1ボタンのない開襟で、裾を出して着るのが特徴。時代に合わせた襟や袖の形、ポケットの位置などのデザインや素材を少しずつ変えながら、今も玉川っ子に愛されている。	玉シヤツ	編集
1512	14	「玉川学園の校歌などは、日本一の校歌ではないかと思ったりいたします」と国語学者・金田一春彦は『日本の唱歌』（講談社）に記した。自然と4部合唱になる校歌がほかにあろうか。歌に始まり歌に終わる学園生活のなかでも、玉川っ子がかもとも愛する歌であり、誇りである。	校歌	編集
1603	1	お弁当 玉川っ子の毎日のお弁当	表紙 特集「食べる」は大切	編集
1603	3	お弁当 玉川っ子を元気にする毎日のお弁当	表紙 特集「食べる」は大切	編集
1607	4	10年生 クラブ活動に所属 提携校への海外研修に参加予定 1年生の弟も玉川っ子	児童・生徒をとりまく玉川のICT環境 K-12の一日	編集
1609	24	玉川学園低学年の春の遠足は、毎年5月に行われる。4月の入学式で「きれいな心」「よい頭」「つよい体」の玉川っ子になる約束をしたばかりの1年生から、低学年の最上級生として頼もしく成長した4年生まで、児童と教員が全員でこどもの国へ向かう。	仲間と歩く1日低学年春の遠足	須賀恭平
1701	22	会場である高学年校舎アトリウムには、多くの聞き手を前に、自信を持って説明する玉川っ子の姿がありました。	探究型学習研究会	後藤芳文
1701	24	そして毎日の練習の始まりには必ず「シー・ハイル（スキーばんざい）！」と、かつてシュナイダーと玉川っ子が唱和したように、元気な声をグレンデに響かせます。	創立以来の伝統を継ぐスキースキー教育	大澤延也
1702	20	私は通大スクーリングでも30年以上、合唱指導を行ってきました。玉川っ子にとって、歌ある生活は当たり前なことですが、全国から集う通大生の多くは、幼少期にそのような経験がありません。	研究エッセイ	
1705	9	玉川っ子の出身地について、「内地は勿論、遠く樺太、朝鮮、臺灣、南洋、ハワイ、満州、支那等にひろがっている……」	留学生は	白柳弘幸
1802	8	以来、入学式・卒業式、音楽発表会、演劇発表会ほかさまざまな行事が開かれ、玉川っ子の歌声とともに歩んできました。	礼拝堂	編集

年	経緯	音楽教育	編集
1802	朝に夕に、出会いや別れの節目に、学びの集大成として、仲間と歌声を合わせる玉川っ子たち。	音楽教育	編集
1804	家が学園の近くで幼稚部から玉川っ子。		Haruki Kiyama
1811	「生涯、読書人たれ」と述べた創立者小原國芳は、「図書館は実に学校の心臓」と位置づけ充実を図りました。玉川っ子に読書と学びの機会をもたらす図書館を紹介します。	図書館	編集 玉居子精宏
1812	ソロバンもはじくがお経も繻ける玉川っ子にしたいのです。	労作教育(石塚清章)	小原國芳
1812	きれいな学園は「玉川っ子の誇り」	ゴミ拾い当番 労作の心	編集 高部清美
1812	高等部(当時)の労作で作られた池に置かれていたカッパ像。1956年、美術部生徒が「玉川っ子」から「川っ子」, 「カッパ」と連想して制作した。	カッパ像	編集 玉居子精宏
1812	まだ読んでいないすべての玉川っ子に、一度読んで大人にはまた改めて、是非読んでもらいたい一冊である。	少年の頃	栗田絵莉子
1902	安全・安心が重視される昨今ですが、玉川っ子にはスキー学校を通して、大自然の厳しさを体験し、教育12信条のひとつ、「自然の尊重」を学んでほしいです。	スキー学校で学ぶ	大澤誕也
1902	山頂では玉川っ子らしく歌声を披露	スキー部の活動	編集 櫻井 香
1902	振り返ってみると、自分がいわゆる玉川っ子だったといえるかなあという思いもあるんです。		Ari Morioka
1904	一方で、例年5~12年生約300名を、研修や留学で海外に派遣、海外の学校との調整、研修の引率など、玉川っ子が本物に触れ、多様性を学ぶ経験を支えています。	K-12海外生徒受け入れ数	編集 櫻井 香
1905	玉川っ子が大きな夢を、一つでも多くの夢を持ってほしいと願ってのことだと聞いています。	学長と学生の対話	中山(学生),
1910	2019年、玉川学園は創立90周年を迎えました。令和という新時代の幕開けとともに大きな節目を迎えたこの機会に、時代を超えた玉川っ子が一堂に会し、明日への「夢」を共有する式典を開きます。	創立90周年記念式典案内	広報
1912	10月18日、K-12父母会役員による「父母教養講座」にて、本学卒業生の俳優、藤田朋子氏の講演会が保護者に向けて開かれた。「玉川っ子です、と胸を張れる私」をテーマに、高等部(当時)から大学までを過ごした中でのエピソードや本学への思いを、歌なども交えながら軽妙に語った。	K-12父母教養講座	広報
1912	「玉川っ子らしく歌います」	体操発表会	広報 吹き出し内
1912	今年度のマスコゲームは高校生として、また玉川っ子として最後だったので、練習中から皆の気合や強い思いに刺激を受けてきました。	体育祭	12年蓼科組 中尾咲希
1912	「明るい日本建設は、まず『歌から』と信じます」と創立者の小原國芳が語ったように、音楽の生活化をめざした玉川の教育は、歌とともにありました。『愛吟集』は玉川っ子の愛唱歌を取めたオ리지ナルの歌集です。	数字で見る玉川	編集 高部清美
2001	物心ついたときから玉川っ子です。当時は音楽祭と演劇発表会が交互にあり、1年生の『赤鼻のトナカイ』ではピアノ伴奏を担当。	卒業生(テレ朝プロデューサー)	貴島彩理 編集 高部清美
2001	1974年東京都生まれ。小学部から玉川っ子。	卒業生	斎藤武馬(鳥類研究者) 編集 高部清美
2002	玉川っ子の彩展 合唱 幼稚部生・1-4年生	音楽祭	
2003	玉川っ子として得た経験を支えに園児が楽しくなる保育をめざす	通信教育課程 生涯学べ	松永徳子
2003	小学部から高等部まで過ごした玉川っ子です。	通信教育課程 生涯学べ	松永徳子
2004	しかも作者は中学高校時代を私と共に玉川の丘で過ごした玉川っ子である。玉川が<翼>の第二の故郷になった経緯は、偶然ではなく必然に思える。	学長	小原芳明
2005	デンマーク研究発表会を通して、平和の文化の推進者を掲げるユネスコの精神も玉川っ子たちは感じ取っただろう。	ユネスコ協力会発表式	白柳弘幸
2007	玉川っ子のみならず、これまでの固定観念にとらわれず前向きに学んでほしいです。	オンラインでの学び	服部薫

年月	ページ	本文	備考	使用者
2009	7	清い心 よい頭 強い体／玉川っ子	玉川の碑・像	編集 櫻井 香
2009	7	創立者は子どもたちや卒業生を、誇りと愛情を込めて「玉川っ子」と呼んだ。右の刻字は玉川っ子の3つの約束として、毎年入学式で小原芳明学園長から新1年生に贈られる言葉。創立者から引き継がれ、豊かな人間像を象徴している。創立者は同じ言葉の揮毫を多く遺し、「きれいな心」と書かれたものも。低学年校舎中央玄関で玉川っ子や来客を迎えている。	玉川の碑・像	編集 櫻井 香
2010	13	父・七代目杵屋佐吉（長明・三味線方：中央）、弟・三代目杵屋佐喜（長明・唄方）も玉川っ子	卒業生	
2011	1	それでもこの丘では、今日もどこかでカイクコが「生きた生物教材」として玉川っ子や大学生の学びを支えている。このことを忘れないでほしい。	玉川の仲間たち	佐治量哉
2011	6	これからも、玉川っ子には歴史においても「本物にふれる」「体験から学ぶ」ことを大切にしたいと願っています。	玉川歴史新聞	佐藤二郎 (中学社会科学論)
2101	19	心の力が尽きそうなときには、「玉川っ子ぞ」というおやじの言葉が、あの声で聞こえてきます。なぜ効くのかわかりませんが、この歳になっても不思議と背筋がシャキッとすると、自分らしく生きていかなければと思いを新たにします。	玉川の先輩から後輩たちへ贈る言葉	江川
2101	19	思うに「微笑みをもって」の玉川モットーは哲学。知恵で書かれた「頭」の言葉で、「玉川っ子ぞ」は感情、「心」の言葉です。	玉川の先輩から後輩たちへ贈る言葉	江川
2103	3	開校を控えた1929年3月、小原國芳よ教員、塾生が話し合い、校章の意匠が決められた。ランドセル、園児・児童の帽子（夏用は白）などの学用品に、92年前の玉川っ子が顔を寄せ合い考えた校章が受け継がれている。	校章入りの帽子	編集
2103	4	美術部の生徒たちが制作したカッパの像は、玉川っ子→「川の子」→カッパ、に由来する。	校名・場所	編集
2103	10	児童生徒から大学生まで、玉川っ子必携の1冊	学びの特色 愛吟集	編集
2103	16	二度の移転を経てもなお校舎近くに安置され、玉川っ子を見守りつづけた「マリア像」。	中学年校舎 マリア像	編集
2103	17	玉川っ子の労作魂に火が着きました	中学年校舎 マリア像	
2103	17	中学部クラスメートのSNSに、マリア像と酒井先生の言葉を見つけたが、コメント欄に並ぶ修復業者委託案に疑問を感じ、玉川っ子の労作魂に火が着いてしまいました。	中学年校舎 マリア像	小川和洋
2103	17	本物が学校生活の日常にあり、知らぬ間に自分の当たり前となっているのが玉川っ子の強み！後輩たちには、どのような場面も臆せず微笑を以って担当してもらいたいですね。	中学年校舎 マリア像	小川和洋
2104	15	学友会は玉川っ子の絆	学生緊急支援のお礼とご報告	佐藤敏明
2104	15	学友会の会員（全卒業生）は校訓を胸に刻んで社会で活躍する玉川っ子です。学友会がコロナ禍の学生会員を支援するのは、そこに卒業生・在学生を問わない玉川っ子の太い絆があるからです。	学生緊急支援のお礼とご報告	佐藤敏明
2107	8	性別や年齢を問わず、多くの玉川っ子に使ってほしいです！	玉川マスク	編集 櫻井 香
2111	13	入学のきっかけは母なんです。友人のお嬢さんが玉川っ子で、労作、寒稽古などに取り組む教育方針を聞き、いろいろ学べて良さそうだと。	卒業生	Hiroko Kitajo
2112	9	着想は玉川っ子の姿から		
2112	9	これは自然が豊かな学園のキャンパスをイメージしたものです。果敢に行動する玉川っ子の活力を表現したいと考えて、色はピンクと青を選びました。		五十嵐春仁